

教科書文庫
4
290
41-1920
2000054756

小 林 房 太 郎 著

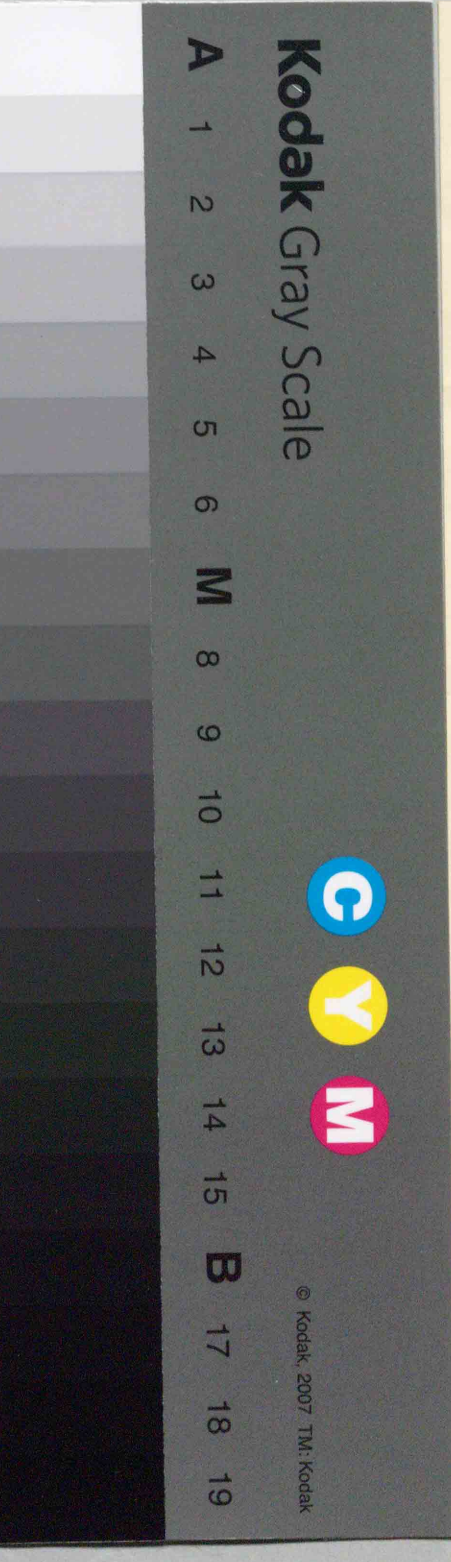
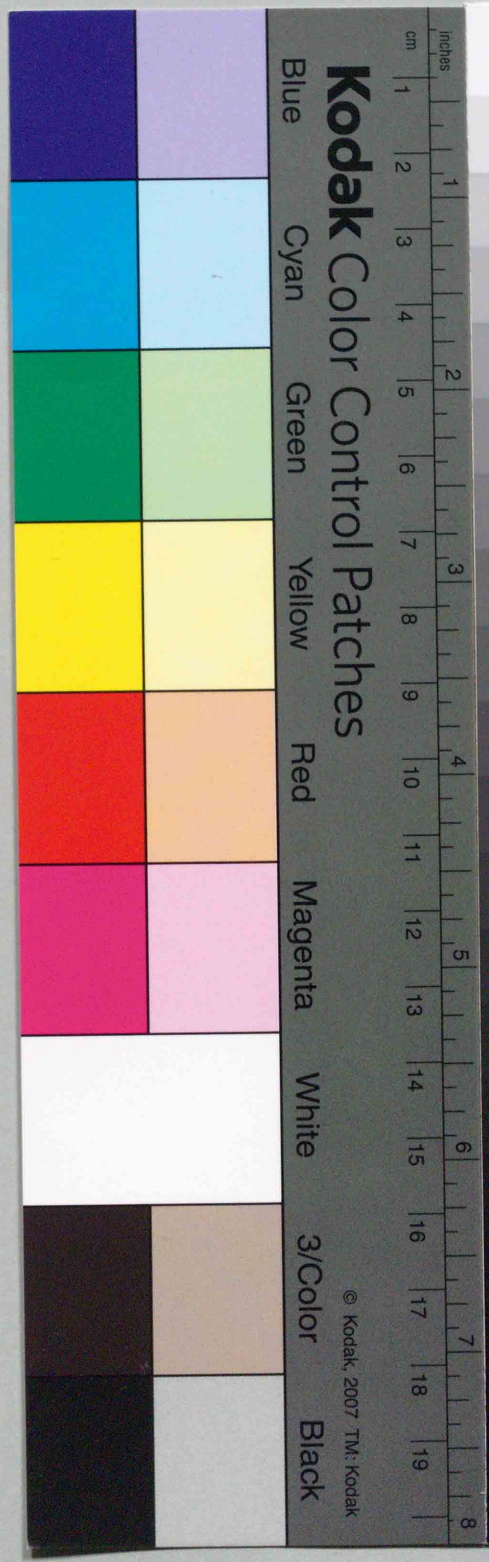
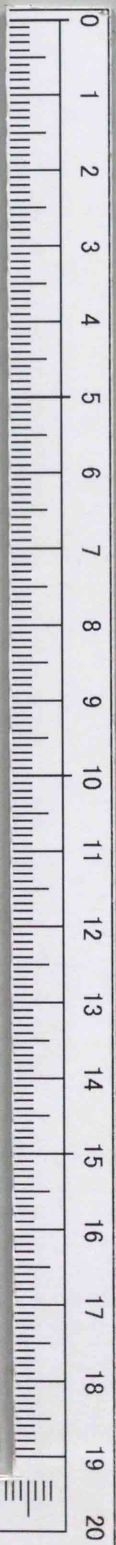
新 地 理

中 學 用

外 國

上 卷

東 京 文 學 社



42786

教科書文庫

4
290
41-1920
20000 54756



資料室

大正九年
文部省檢定版

教科書文庫
4
290
41-1920
2000054756

計
冊

375.9
K02



広島大学図書
2000054756


人ヌギルキと原高ルミバ



広島大学
教
54756
書

新地理 外國互卷目次

新版外國上

第一編 滿洲地理

關東州

地文誌

人文誌

地方誌

滿洲

地文誌

人文誌

地方誌

第二編 亞細亞洲

總說

目次

頁
一
一
二
三
三
五
五
六
六
八
二
二
三

地文誌	二二
人文誌	二二
各説	二六
支那	二六
地文誌	二六
人文誌	三三
地方誌	四〇
支那本部	四〇
蒙古	五三
新疆省	五三
青海	五五
西藏	五五
列國の租借地及び領地	五五
沿革及び我が國との關係	五五
亞細亞露西亞	六二

西比利亞	六一
地文誌	六一
人文誌	六五
地方誌	六六
中亞細亞	七〇
カフカズ	七三
亞細亞土耳其	七五
亞刺比亞	七六
イラン地方	七九
總説	七九
地方誌(波斯アフガニスタンベルチスタン)	八〇
印度	八二
地文誌	八二
人文誌	八三
地方誌	八七

錫蘭島ネパールブータン等	八九
印度支那	九一
總説	九二
佛蘭西領印度支那	九三
暹羅	九四
英吉利領印度支那	九六
馬來群島	九六
バミル高原	口繪
カラコラム山系のブライド峯	五四頁ノ次
ベナレスに於けるヒンヅー人の沐浴	八六頁ノ次

挿版目次

目次終

新版外國上

新地理 外國と卷 中道

第一編 滿洲地理

關東州 面積約二百二十方里 人口約五十萬

地文誌

滿洲の一部たる遼東半島の南西端を占め、渤海灣と黄海との間に挟り、南は直隸海峽を隔てて支那の山東半島に對す。遼東山脈其の域内に連互し、丘陵臺地に富み、平野少なく、河川の著しきものなし。海岸は屈曲著しく、渤海灣方面には金州灣、黄海方面には大連灣、迫りて金州地峽を形成す。東方には長山列島横はり其の東端を海洋島とす。一般に

地味瘠せて玉蜀黍・高粱の外農産少なければども、沿岸は製鹽に適し魚族亦少なからず。

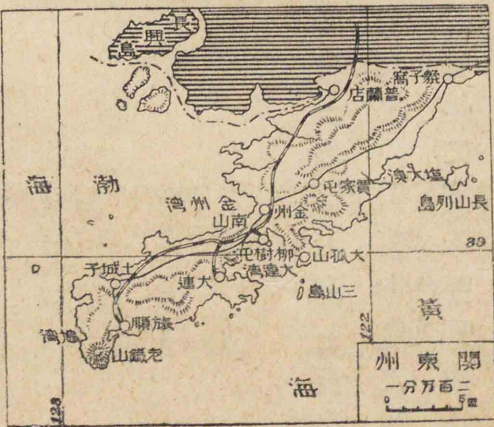
人文誌

住民約五十萬あり、その大部は支那人にして、一般に農業に従事す、本邦人は^{約十萬}五萬に達せず。我が國は關東廳を旅順市に置き、^{長官現林權助ナリ}總督を派して之を統べ、其の下に大連・旅順の二署を置きて民政を司らしむ。

大連市に南滿洲鐵道會社あり。

鐵道は我が南滿洲鐵道會社の經營に係り、大連旅順より起り、金州・普蘭店を経て北東に向ふ。

關東州略圖



新版外國上

地方誌

旅順市は金州半島の尖端に近く、直隸海峽を扼す、其の港は東西の二港より成り、東港は Port Arthur

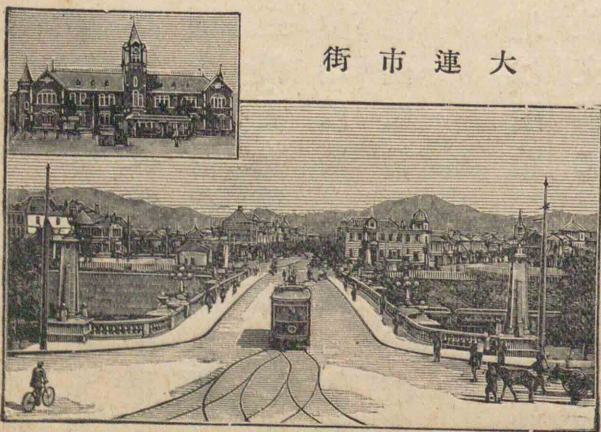
白玉山の表忠塔



海軍要港、西港は開港場

にして、數層の丘陵背後を圍み、著名の險要地として知られ、日清・日露の兩役に我が軍の奮闘苦戦せし處、二百三高地・東鷄冠

大連市街



新版外國上

大連市は内地と定期船を通ず。人口三萬六千人。

山等遺蹟甚だ多く、背後の白玉山に當時の戦没者を祀れる表忠塔あり。關東廳高等法院及び工科學堂等を置く。大連市は旅順の東北に位し、南滿洲の門戸に當り、港灣市街の設備整へること、本土に其の比を見ずと稱せらる。南滿洲鐵道の起點に當り、盛に大豆、豆粕、豆油、石炭等を輸出し、内地より綿布、綿絲、清酒等を輸入す。金州は同名の灣に面し、地峽部を扼す、民政支署を置く、其の南西に日露兩軍の激戦地たる南山あり。

我が國との關係 遼東半島の地は、明治二十七八年戦役の結果、一旦我が領土となりしが、後支那に還附し、次で露國の之を租借するや、旅順を軍港となし、大連灣を修築し、東清鐵道支線を布設して、歐亞の交通路となし、大に東亞に勢力を張りしが、明治三十七八年戦役の結果、我國は露國に代り

新版外國上

新版外國上

て之を借領し、次で最近に至り、其の期限を更に延長するごととせり。

滿洲

面積約六萬方里 人口約一千二百七十萬

地文誌

位置・地勢 支那の北東部を占め、西は興安嶺によりて蒙古に接し、北は黑龍江を以て西北利亞と界し、南には遼東半島突出して黃海と渤海とを分つ。殆ど東西に亘れる分水背の丘陵あり、長白興安兩山脈を連ねて日字形をなすを以て、其の北なる松花江は北流して黑龍江に注ぎ、南なる遼河は南流して渤海灣に入る、共に其の流域に大平野を控ふ。氣候 氣候は大陸性にして、寒暑共に烈しく、夏季は炎熱甚しく、豪雨屢襲來して、平地は沼澤と化する處多く、冬季は

凍結せる河水の面は橋道として使用せらる。

降雪少なければ、氣候寒冷にして平地は氷野と變じ、河流凍結して其の上に車馬を走らしむ。

人文誌

生業

平野廣大なれば住民農を主生業とし、大豆、高粱、玉蜀黍等到る處に成熟し、北部よりは尙小麥を産し、從て製粉業行はる。高粱は農民の常食に供せられ、豆よりは豆油、豆粕を製造して盛に本邦に輸出す。柞蠶、烟草、食鹽等の産亦多し。牧畜業亦盛にして、一般に馬、騾、豚等を飼養す。松花江と鴨綠江との上流地方には、森林繁茂し、良材を産出す。鑛産中、石炭最も豊富にして、我が經營に係る

滿洲馬は能く寒氣に堪ゆるを以て知らる、嘗てシヤツクルトンは南極探検に之を使用したり。

柞蠶



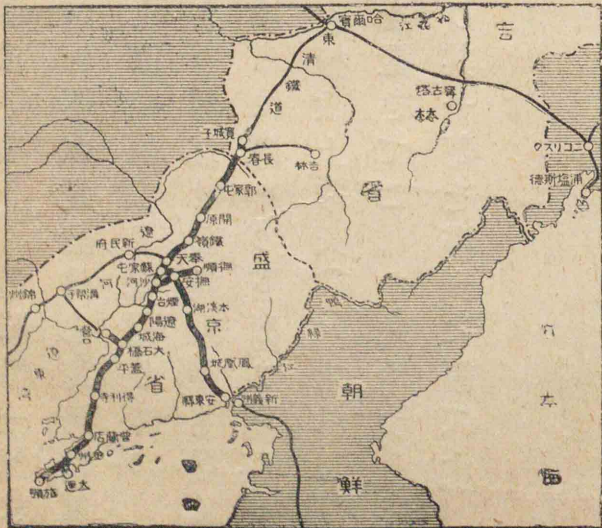
撫順、烟臺、本溪湖等の各炭坑最も有望なり。

交通

我が南滿洲鐵道は、大連、旅順より起り、北方遼陽、奉天、鐵嶺を過ぎ、長春に達す、又別に安奉線ありて奉天附近に起り、本溪湖、鷄冠山、鳳凰城を経て安東縣に至る。此の外日本と支那との共同經營に成れる長春、吉林間の吉長線あり。東清鐵道は露西亞の經營に成り、浦鹽、斯德より起りて滿洲に入り、哈爾濱、齊齊哈爾、滿洲里を経て西比利亞鐵道に接続し、其支線は哈爾濱より長春に達して南滿洲

東京より哈爾濱迄は急行汽車によれば三日間に達す。

南滿洲の交通系



遼河は豆類輸送に於て南滿洲鐵道と競争す大連營口とは之が爲めに活氣を呈す。

問島の龍井村、奉天・吉林・哈爾濱に我が總領事館、安東・牛莊・遼陽・鐵嶺・長春・齊齊哈爾・鄭家屯・赤峰に領事館あり。

鐵道と連る。其の他營口線、京奉線等あり。道路は一般に不完全なれども、河流は黑龍江、遼河等水運發達し、遼河は夏季は萬餘の支那形船往來上下し、特に豆類の輸送盛なり。
住民政治 住民中支那本部より移往せる漢人最も多く何れも農業に従事す。之に次げるは固有の滿洲(ツングース族にして、漁獵、牧畜等に從ふ。行政上奉天(一名吉林、黑龍江の三省に分たれ、各省に長官を置きてこれを統治す。近時東蒙古次第に發達するに從ひ、其一部を滿洲に編入す。

地方誌

奉天は奉天省の省城、滿洲第一の大都會にして、政治、商業及び交通の大中心地に當る。此の地は清朝發祥の地にて宗廟尙存す。西方遼河に近く新民府あり。遼陽は遼東平

新版外國上

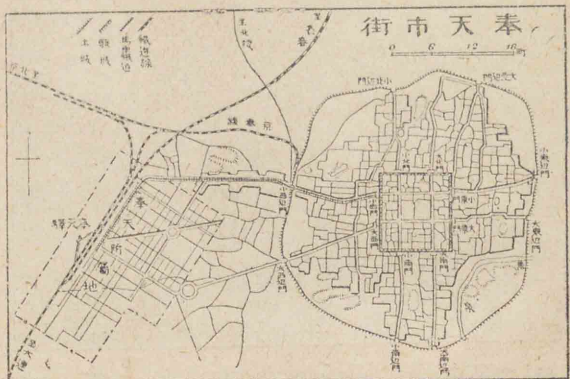
新版外國上

都邑人口
奉天 一〇八
吉林 一〇八
長春 一〇八
營口 一〇八
哈爾濱 一〇八
牛莊 一〇八
遼陽 一〇八
安東 一〇八
鐵嶺 一〇八
齊齊哈爾 一〇八
新民府 一〇八
法庫門 一〇八

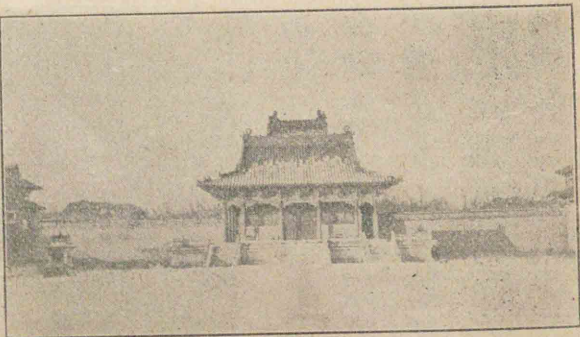
外國人は營口を牛莊と稱す。

豆類、豆粕は主として本邦に入る。奉天省の北方東蒙古に洮南あり。

奉天市街附近略圖



野の一中心をなし、奉天と共に日露戰役の激戰地として著る。營口は遼河の口に當り、盛に豆類、豆粕、豆油を輸出し、大連と共に

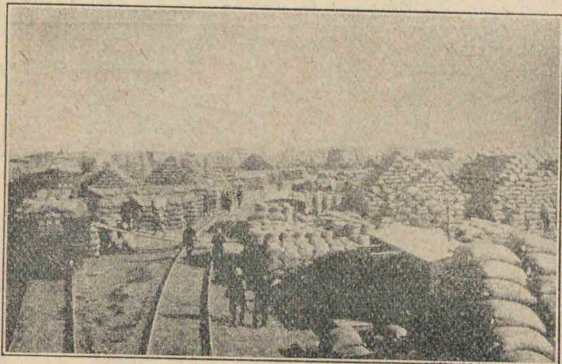


滿洲の二大門戸を成す。鐵嶺、開原は奉天の北に位し、共に水陸の便よく、長春は豆粕、豆油の積出甚だ多く、西方の通江口は遼河水運の終點に位し、東蒙古との取引に著る。法庫門此處に近し。安東縣は鴨綠江の下流に位し、江を隔てて朝

哈爾濱には露人經營の事業甚だ盛なり。

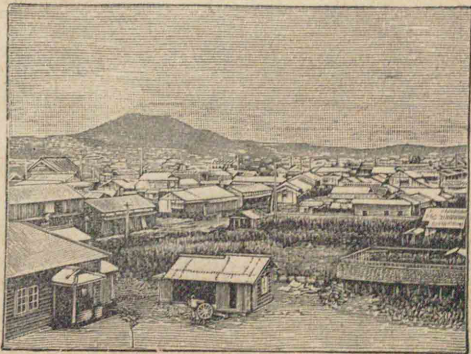
間島の局子街頭道溝・環春に間島總領事分館を置く、間島には我貨幣通用す。
通化・新民府・海龍・撫鹿・農安には領事館あり。

長春驛大豆の堆積



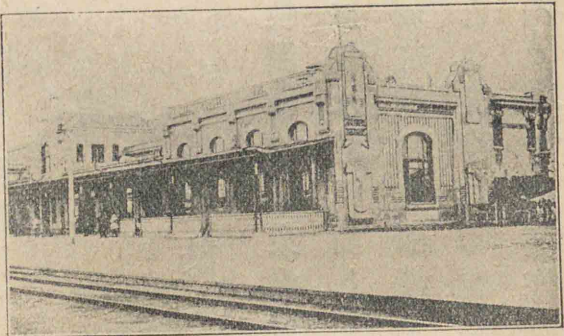
鮮の新義州と相對す、本邦人多し。蓋平は營口の東南に當り、柞蠶を産す。吉林は省城にして、松花江の流域に位置し、煙草・毛皮等の集散地なり、吉長鐵道は今後間島を経て朝鮮に達すべし。哈爾濱は北方松花江の右岸に在り、露西亞の建設せる市街にして、北滿洲商工業の中心地を占め、露國の大兵營あり、製粉業亦盛なり。下流に三姓の河港あり、牡丹江を溯れば寧古塔に達すべし、間島は朝鮮に接し、耕地

安東縣



新版外國上
新版外國上

哈爾濱賓車場



廣く朝鮮移住民來りて、農業に従事す、龍井村は開市場にして我總領事館あり。齊齊哈爾は、松花江の支流なる嫩江の左岸に沿へる省城にして、東方黑龍江畔に愛琿あり。

沿革 滿洲は清朝發祥の地なれば、特に重きをなせしが、露國は黑龍江沿岸の土地を割取し、次で東清鐵道の敷設、關東州の租借權等を獲たり、然るに、日露戰役の結果、南部は我が勢力範圍に移り、爾後南滿洲に我が勢力伸張し、森林の伐採、鐵路の敷設、鑛山の採掘等、本邦人或は日支兩國の共同經營に成り、物産は本邦に輸出し、需要品は我より輸入せらるるもの多く、今や東蒙古も我が

勢力範圍となるに至れり。而して我が國人の移住日に月に盛ならんとし、特に南滿洲鐵道沿線に密集し、我が小學校の建設も少なからざるに至れり。

第二編 亞細亞洲 ASIA

總說

地文誌

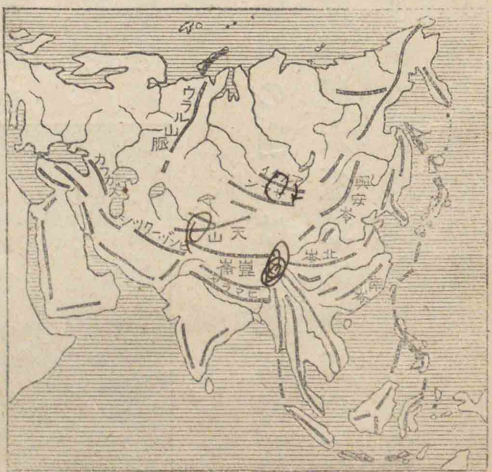
位置境域 東半球の北東部に位し、世界の最大陸にして、北は北氷洋に面し、東は太平洋に臨み、北東端の東岬は、北亞米利加洲の北西端とベーリング海峽を隔てて將に相接せんとし、又南は印度洋に面し、西は自然地理上の低地たるオビ河・ウラル河・裏海及びマニッチ谷等によりて、歐羅巴洲と

面積比較

亞細亞洲	二九〇萬方里
亞弗利加洲	一九〇萬方里
北亞米利加洲	一六〇萬方里
南亞米利加洲	一二〇萬方里
歐羅巴洲	六四萬方里
大洋洲	五八萬方里

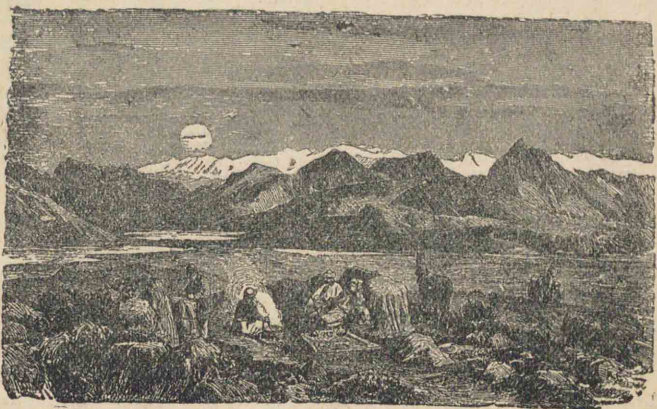
新版外國上

勢地の洲亞細亞



分つべきも、歐羅巴は亞細亞洲と共にユーラシア大陸を成す。地勢 世界の屋梁と稱せらるるパミル高原を中心として、山脈四方に射出す、其の南東に向ふものは高峻雄大なるカラコラム山系及びヒマラヤ山系にして、ヒマラヤ山系中のエヴェレストは、高さ二萬九千尺に達し、世界第一の高峯なり。其の北にはトランスヒマラヤ山脈ありて之と並行す。崑崙山系は其の北方に位し、其の脈東に延びて數派に分れ、興安嶺・南嶺・北嶺等となる。天山山脈及びアルタイ山脈・サヤン山脈は北東に連り、ヤブロンイ山脈・スタノヴイ山脈に連

山ムラコラカ



ゴビ沙漠に連る盆地内にはタクラマカン沙漠あり。天山の北にはヅンガリアの小盆地あり、スリマン山脈の西には

續す。ヒン
ヅークシエ
ルブルズ
の兩山脈は
パミル高原
より西方に
走り、遙に
加索山脈と
呼應す。



新版外國上
新版外國上

イラン高原ありて、西方亞刺比亞高原と相連る。同山脈の東は印度半島にしてデカン高原を擁す。

平野は東部南部のものは河川の流域に多く、印度平野及び支那東部の平野を主とす、北部には世界最大の西比利亞平野あり、前者は地味肥沃にして農産に富めども、後者は寒地にして、森林凍原多し。又イラン・亞刺比亞兩高原間にはメソポタミア平野あり。

水系 河流は源を中央の高地に發して四方に向ふ。北部にはオビ・イェニセイ・レナの三大河あり、冬季長く結氷するを遺憾とす。東部には黒龍江・揚子江・西江あり。南部にはメコン・サルウキン・イラワディー・ブラマプトラ・恒河及びインダスの諸河あり。西部にはエウフラト・チゲリス兩河の合流するシャトエルアラブ河あり。内地流域の河流

には、タリム・アム・シ
Tarim. Amu. Syr.
 ル・ウラル等あり。
Ural.
 湖沼には、裏海・アラ
Caspian-Sea Aral.
 ル・バルハシ等數多
Balkhash.
 の無口湖多く、何れ
 も鹹湖なり。淡水
 湖はバイカルの外
Baikal
 大湖なけれども、揚
 子江流域には無數に存在し、多くは湖群をなす、雲夢澤地最
 も著る。

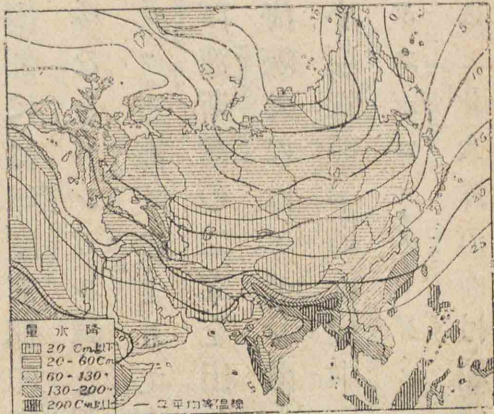


裏海は世界第一の大湖にして、面積約二萬八千方里あり、
 バイカル湖は亞細亞洲第一の大淡水湖なり。
 海岸及び島嶼 海岸線の屈曲最も大なるは東部にして、

新版外國上

勘察加半島及び朝鮮半島突出し、日本列島これが連鎖をな
Kamohakka Korea
 して、阿斯科海・日本海及び東支那海を限る。東支那海の
Sea of Okhotsk. Sea of Japan. East China Sea
 北には黄海及び渤海灣あり。其の南には南支那海あり、暹
Yellow Sea South China Sea
 羅灣及び東京灣を分派す。比律賓・ボルネオ・スマトラ・セレ
Siam G. of Tongking Philippine Borneo Sumatra Celebes
 ベス等の各島は其の南東に羅列す。
 南部には印度支那・印度・亞刺比亞の三大半島突出して、屈
Indo-china India Arabia
 曲少なきベンガル灣と亞刺比亞海とを分ち、ベンガル灣は
Bay of Bengal Arabia Sea
 マラッカ海峽によりて南支那海と通じ、亞刺比亞海は紅海
Malacca Str. Red Sea
 及び波斯灣の二支を出し、紅海の關門たるバブエルマンデ
Persian Gulf Strait of Bab-el-Mandeb
 ブ海峽外にはアデン灣あり。
G. of Aden
 小亞細亞半島は地中海と黒海との間に突出し、兩海は僅
Asia Minor Mediterranean Sea Black Sea
 にボス・ポロス・ダーダネル兩海峽とマルモラ海とによりて
Pen. of Bosphorus Dardanelles S. of Marmora
 連る。北氷洋方面は屈曲甚だ少なく、中央より稍西に偏し

布分量水降の洲亞細亞



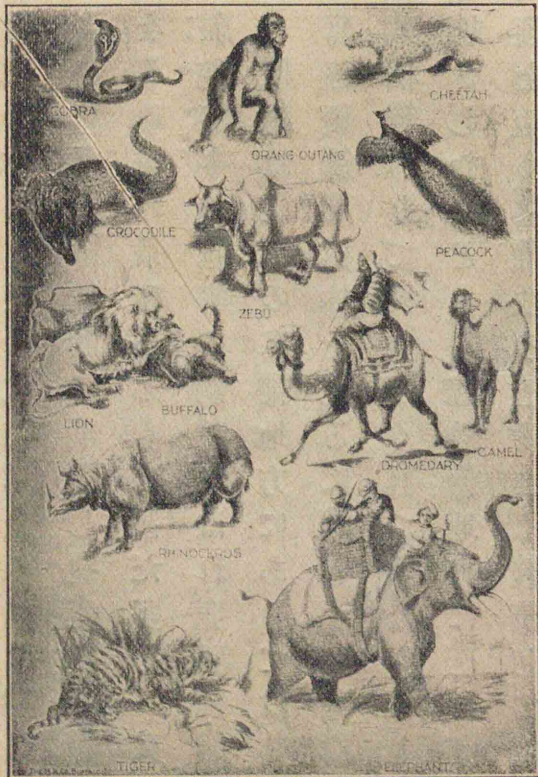
ナ河の東部ヴェルホヤンスクの如き、實に世界の最寒地と稱せらる。内地は海岸を距ること遠きが故に雨量少なく、純然たる大陸性氣候にして酷烈を極め、多くは沙漠又は草原をなす、西藏・蒙古・中央亞細亞等之に屬す。南部及び南東部は季節風帯に屬し、高温多雨にして植物の生育盛なり。

新版外國上
新版外國上

東部も亦一の季節風帯に入り、氣候一般に溫和なり。南支那海より本邦に至る沿海地方は、屢大風の襲來を蒙ることあり、我が二百十日前後特に甚だし。西部のイラン・亞刺比亞兩地方の高臺地は、炎熱甚しく沙漠多し。

天産 地勢氣

物動の洲亞細亞



帶地方には獅子・虎・豹・象・犀の如き巨獸、大蛇・鱷魚の如き爬蟲類、森林・河邊にさまよひ、猿猴類は林間に飛躍し、孔雀・鸚鵡・鸚哥の如き羽毛の美なる珍禽の飛びかふもの甚だ多し。又温帶地方には牛・馬・駱駝・犛牛・羊・豚等の飼養行はれ、鹿・狐狸・熊・猪・麝香鹿等野生す。植物は、北部の寒帶地方にありては、其の種類少く、僅に蘚苔類・針葉樹林を見るに過ぎず、針葉樹には根松・蝦夷松・落葉松等ありて、枝少なく且つ密ならずして、満目荒涼の感を起さしむれども、南部熱帶地方に至れば、椰子・榕樹・香蕉・羊齒類を始め、熱帶性の植物よく繁茂して生氣溢るるが如く、又米・茶・綿・鴉片・香料・砂糖等を産す、殊に温暖なる東部沿岸には米・麥・茶・桑等の産多し。又沿海は水族甚だ多く、北東部よりは臘虎・臘肭獸等の毛皮獸及び鯨・鱒・鮭・鱈等を産す。鑛物は石炭・石油・金・銀・銅・錫・寶石類あれども、採掘

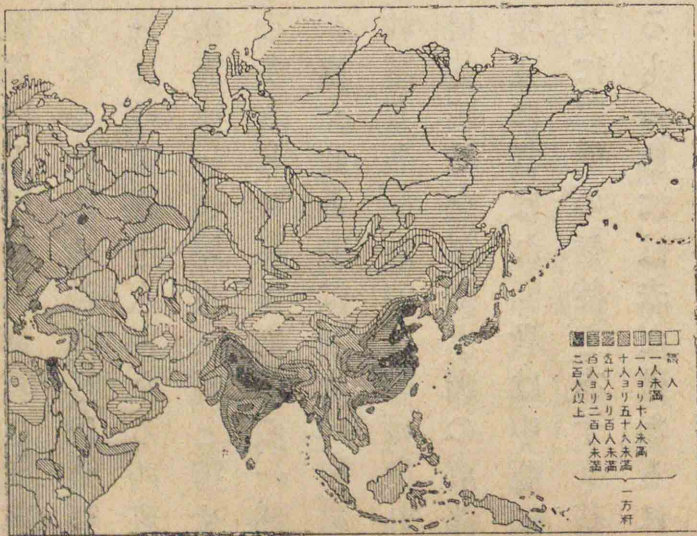
新版外國上

新版外國上

の術未だ十分ならざる處多し。

人文誌

住民 住民は約九億六千萬あり、世界人口の半數以上を占むれども、面積廣大なるを以て、其の密度は歐羅巴洲に及ばず。其中、亞細亞人種六億に達し、本洲の東部南部に最も密にして、支那族・朝鮮族・印度支那族・滿洲族・蒙古族・西藏族・土耳其族等を主とす。我が日本民族は亞細



亞人種に屬するものの如し。歐羅巴人種は南部及び西部亞細亞に多く、印度のヒンヅ^{Hindus}、イラン地方の波斯、亞刺比亞のセム等を主とす。比律賓群島には歐羅巴人種^{Peasins}たる西班牙人、英吉利人多し。海岸島嶼種族は一に馬來人種と稱せられ、比律賓其の他の馬來群島を主とし、又馬來半島の一部にも居住す、印度のドラーヴキダ族亦此の中に列すべし。

宗教 世界の大宗教たる佛教、基督教、回教、印度教は、何れも亞細亞洲に起れり。佛教は信徒四億を超え、本洲の東部及び南東部に行はれ、印度教は印度に行はれ、回教は中亞細亞及び西部亞細亞等に行はれ、共に二億の信徒を有す。基督教は、特に開港地等に行はるるも、一般には未だ盛なるに至らず。

國勢 住民中一定の土地に占居し、主權によりて統治せ

新版外國上

新版外國上

らるるものを國家と稱す。本洲内に於ける國家の分布を見るに、先づ東部には本邦及び支那あり、支那は東方太平洋岸より西方中亞細亞に達す、イラン高原には波斯王國、アフガニスタン酋長國あり、亞刺比亞半島の一部には、オマーン酋長國あり、土耳其は歐亞^{歐後ヨーロッパ、北亞細亞洲}に跨りて國を成し、印度支那半島には暹羅王國あり、其の他は何れも歐洲諸國の領土なり。

古昔大勢力を振ひし亞細亞の民は、今や文化大に衰へ、二三の獨立國を除く外、歐米人の下風に立ち、其の地域は次第に彼等の爲めに蠶食せらるるに至れり。大日本帝國のみは、此の間に立ちて日に月に發達し、東洋無比の強國として世界列強の伍班に列す、豈に偉ならずや。

生業 農業は季節風の發達せる東部、南東部、南部に盛にして、日本群島、揚子江、西江、東京河、メコン河、サルウキン河、ブラ

マブトラ河及び恒河の各流域は、世界の米産地として知られ、又茶・綿・甘蔗等を産すること多し、其の他滿洲の高梁・大豆・西比利亞南部の麥・豆類等は有名なり。鑛業は未だ盛大ならざれども、支那の鐵石炭は地下の埋藏甚だ多く、本邦の石炭は東亞の市場に活躍し、馬來半島の錫は世界第一の産額を有す、西比利亞の金、高加索・蘭領印度の石油、印度及び印度支那の寶石また名高し。工業は、近來本邦・印度支那等には規模宏大なる綿絲紡績・綿織物等の工場設立せられ、本邦及び支那には製鐵の大工場を見るに至れり。造船業も本邦を初として次第に隆盛ならんとす。貿易は漸次盛大に赴き、横濱・神戸・上海・香港・廣東・シンガポール・カルカッタ・孟買等は、開港場として取引甚だ多し。

交通 内地は高峻なる山嶽、廣漠たる沙漠ありて、人煙稀

新版外國上

新版外國上

少なれば、鐵道の敷設少なく、道路も不完全にして交通不便を極め、僅に駱駝・犛牛・馬等の背を借りて進まざるべからず。諸大河の下流及び沿海の航通は割合に開け、特に揚子江は河口より一千哩の上流まで大汽船往復す。海運は横濱・神戸・上海・香港・シンガポール等を中心として、歐洲・南北亞米利加・濠洲等の間に定期船の往復あり。鐵道は本邦・印度支那・亞細亞・露西亞等に發達せり。就中、西比利亞鐵道は歐亞兩大陸交通上の大幹線にして、又歐羅巴洲への最近通路たり。電信線は大陸を横斷し、或は海底線によりて歐洲・北米・濠洲各大陸及び島地との通信自在なり。

本邦より太平洋を航して、北亞米利加に到るには約十餘日、印度洋を経て、歐洲に至るには約五十日を要し、又西比利亞鐵道を經由すれば、約十二日にて露都に達すべし。

各説

支那 面積約七十萬方里
人口約三億二千萬

地文誌

位置・境域 支那は亞細亞洲の中部より東部に擴がれる大國にして、朝鮮・西比利亞・中亞細亞・アフガニスタン・印度・印度支那等と境し、黃海・東支那海及び南支那海に面し、其の面積本邦の約十六倍ありて、歐羅巴全洲よりも大なり。支那本部・滿洲・新疆省及蒙藏部たる蒙古・青海・西藏に分つ。

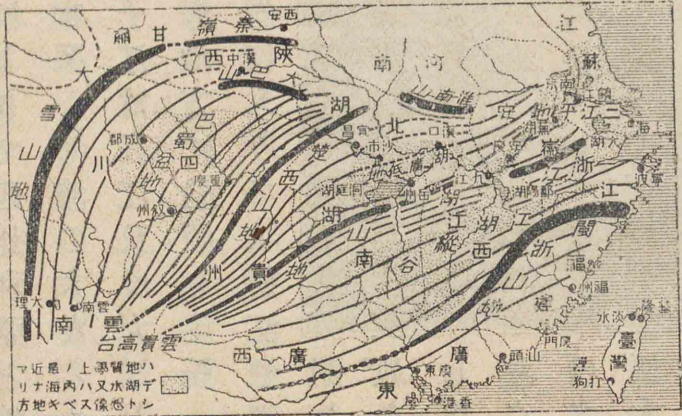
地勢 西部に、ヒマラヤ・トランスヒマラヤ・天山・崑崙・アルタイ・サヤン等の諸山系あり、其の間に盆地を控へ、一高一低相連る。崑崙山系は東に走り、秦嶺山脈・伏牛山脈となり、尙

新版外國上

新版外國上

南嶺は並行せる
數多の山脈より
成る巴蜀盆地、
湖廣低地、江湖
縱谷等は其間の
平野なり。

南嶺の地勢



秦嶺山脈即ち北嶺より分れて北に走れる興安嶺あり。蒙古高原は秦嶺・興安嶺兩山脈に包まる。北嶺は南嶺と相對し、其の間に揚子江流れ、同流域の地は多く豊沃にして農産に富み、支那の寶庫たり、南嶺は北東より南西に走れる四列の山脈より成る。北嶺の北は黃河の流域に當り、南嶺の南は主として珠江の流域に屬す。又四川省の南には雲貴高臺あり。青海地方より南走する印度支那山系は、數多の山列を成して其の西部を南走す。又北部は一帶に蒙古高原を成し、山

地によりて西比利亞と接す。

水系 河流の大なるものには、揚子江、黄河、珠江等あり。

揚子江は長江又は大江と呼び、亞細亞洲第一の大河にして、青海地方に發源し、流程一千五百里、源流を金沙江と呼び、四川省に入りて、鴉碧江、岷江、嘉陵江、烏江を併せ、三峽の嶮を切

三峽の嶮(巫山峽)



開し、無數の湖沼を點綴せる雲夢の澤地を過ぎ、南嶺の一部、江湖山地を横斷し、再び大平原に出で、終に東支那海に注ぐ、中流以下は漢江、洞庭湖、鄱陽湖等の水を容る、其の河幅甚だ廣く灌漑の便大に、且つ流勢緩かにして、中部九江の上流數里まで潮汐を感ず、然れども夏冬水準の差甚しく、夏季は兩岸の突

新版外國上

新版外國上

山東半島は嘗ては島地なりしも黄河の冲積作用によりて大陸と接続して半島となれり。

堤を越えて氾濫し、洋洋海の如く、漢口に於ては増水五十尺に達す。而して洞庭湖より南方南支那海に至る間は一帯に土地低く、同湖に注ぐ湘江は、西江、珠江の本流に注ぐ桂江と運河を連れ、揚子江と珠江とをして同一河系たらしむ。

黄河は崑崙山系に發し、蒙古

沙漠の一部を過ぎ、山西省の西境を南流し、渭水を容るるや東に曲り、開封より東北に向ひ渤海に注ぐ、下流に廣大なる冲積地を控ふ。此の河は黄土層を流るるを以て河水黄濁し、河底に散布せる無數の淺堆は、其の位置常に變化して、舟運を妨ぐ。

黄河の冲積地



古來河道變遷の大なる此の河の如きは稀なり。

西江は雲南省に發し、東流して北江と合し、數派に分る、其一を珠江と云ひ、東江と會し、南支那海に注ぐ、舟運便なり。

内陸系に屬する諸河亦甚だ多く、タリム河最大にして、所謂タリム盆地を東流し、Lob-norロブ湖に注ぐ、ス

ヴェンヘチン氏の探檢に知られたるタ

クラマカン沙漠は其の流域に在り。タ冬

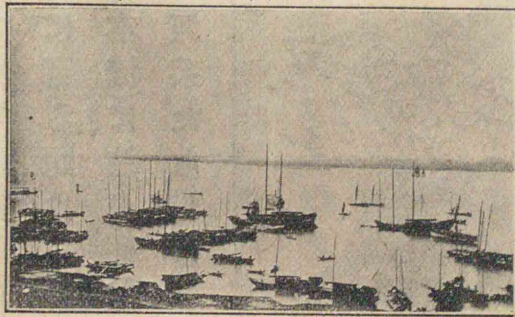
リム河の北には伊犁河あり、西流して中の

亞細亞のバルハン湖に注ぐ。

湖沼中揚子江流域に散在するものは、庭湖

季節により其の面積甚しく差異あるのみならず、冬の乾燥季には洞庭湖の如く全く涸渇するもの多し。蒙古、青海、西藏

前方遙に見ゆるは陸地にして夏季は全く水に没す。



新版外國上

新版外國上

等の高原地に存する湖沼は、殆ど無口湖のみにして、多くは鹹湖に屬す。

沿岸

沿海地は其の區域小にして、北部には、山東遼東兩

半島相對して渤海灣を圍み、灣内更に直隸遼東の二灣に分る。山東半島の南側には膠州灣あり、揚子江口は海灣の如

く、杭州灣東には舟山列島横はる、以南は小屈曲甚だ多く、又

小島無數に散點す。Chan shan Is.臺灣海峡面には厦門灣あり、Amoy Bay雷州半島

は海南島と相對して、東に廣州灣、西に東京灣を擁す。Leiqiu Is.

氣候

土地廣大なるを以て、氣候一樣ならず、南部は熱帶

性にして暑氣烈しく、南支那海沿岸地方は夏季旋風の害を被ること多く、支那本部の黄河揚子江流域は稍溫和なるも、

北部及び内地は氣候酷烈にして、氣温の變化甚だ急なり、殊に蒙古、西藏を甚しとす。雨量は南東沿海地方に多く、又揚

子江上流地方に多量なれども、西藏・蒙古地方には極めて少く、沙漠草原となれる處多し。

人文誌

住民 世界人口の四分之一を占む、其の密度は、西部及び北部には甚だ小なれども、本部中特に沿岸及び各河の下流域に頗る大なり。海外移住民約七百萬人を算し、世界到處支那人を見ざるなし。住民は六種族に分れ、漢人最も多數にして、支那本部に住し、尙滿洲にも甚だ多く、滿洲族は滿洲に、土耳其族は天山南路に、蒙古族は蒙古及び天山北路に、西藏族

在外支那人は暹羅・ジャバ・馬來・諸州・香港・亞米利加合衆國等に多し。

漢人



處支那人を見ざるなし。住民は六種族に分れ、漢人最も多數にして、支那本部に住し、尙滿洲にも甚だ多く、滿洲族は滿洲に、土耳其族は天山南路に、蒙古族は蒙古及び天山北路に、西藏族

新版外國上

新版外國上

南北の漢人は時に日本語を用いて對話する奇觀あり。

支那本部にても南支那は古來纏足せざるもの多し。

は西藏及び青海地方に、苗・瑶族は南部に居住す。此の中土耳其族以下は文化の程度低し。言語は其の區別甚だ多く、漢語は廣く漢人間に用ひられるれども、南北方言を異にして意思相通せず、其の他の種族も各固有の言語を有す。支那人は勤儉忍耐にして、商業に長じ信用を重んずれども、舊習を墨守し徒に貨殖を事とし、愛國の念に乏しきものなきにあらざり。鴉片の喫煙と女子の纏足とは二大弊風なれども、近時漸く之を改むる傾向を見るに至れり。

教育は古來詩文・經典を學習し、科擧に應ずるを目的とするのみにして、實用の學を講ぜざりしが、近時學制を改め、北京の大學を始め、各省に種種の學校を興し、大に其の發達を圖るに至れり。宗教は、

支那婦人の纏足



蒙古の喇嘛僧



ず、開港場附近、北京等に行はるるに過ぎず。

政治 政體は從來君主專制なりしが、近時、揚子江流域其他各處に革命起りて、清朝爲めに滅亡し、新に共和國起りて、國號を中華民國と稱し、大總統これを統治すれども、國內統一を缺き、紛擾常に絶えず。地方の行政は、支那本部十八省、滿洲三省に新疆省を加へ、京兆及二十二省とし、各省に省

支那の現状は大總統を戴くも殆ど專制政體なり。

新版外國上

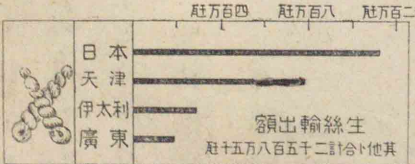
長及び督軍を置きてこれを治め、又別に特別區、蒙藏部を置きこれを統治す。軍備は從來の八旗兵の制を廢し、新式の師團を編成する豫定にして、現に南北の兩軍に、約二十に近き師團成りしも、訓練十分ならず、海軍は其の勢力甚だ微弱なり。

新版外國上

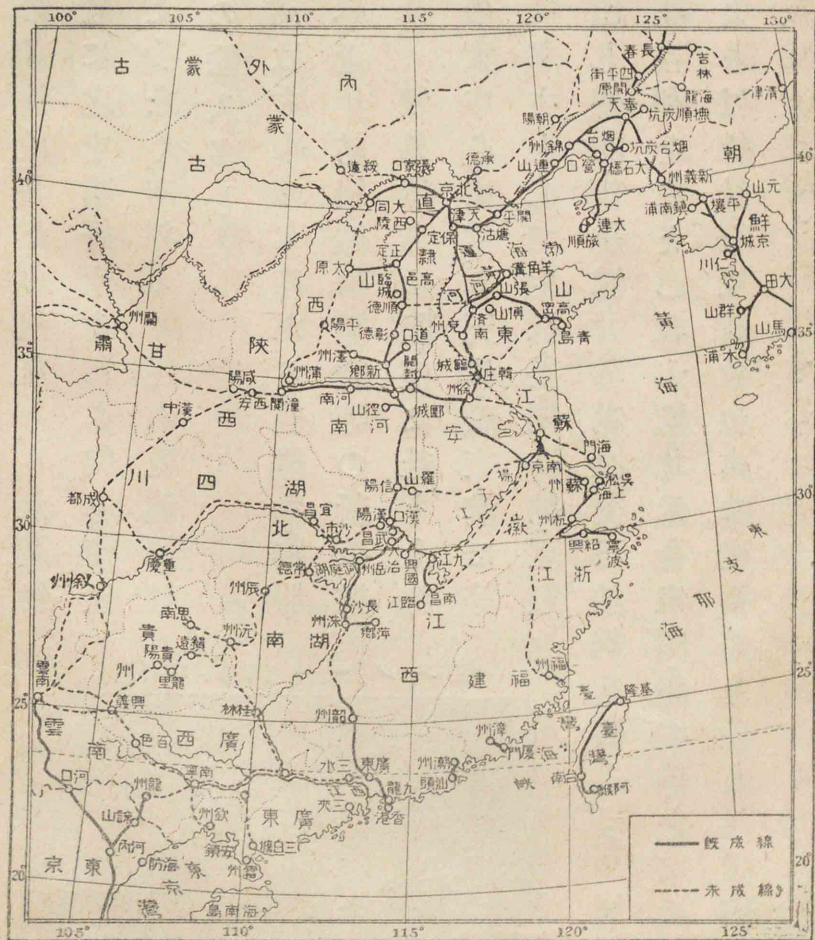
生業 土地廣大にして地勢氣候一樣ならざるを以て、各種の物産に富むも、生業進歩せざれば、主として原料品を供給するに過ぎず。支那本部に於ては農業を主生業とし、南部よりは米、茶綿等を、北部よりは大豆、麥、玉蜀黍等を産す。

綿は特に揚子江流域に産し、自國紡績業の原料たるのみならず、本邦に輸出する量多し。養蠶は各地に行はるれども、江蘇、浙江の二省最も名

生絲輸出額比較



支那の交通系



新版外國上

新版外國上

交通 南部の交通は揚子江・珠江の如き大河並に無数の運河存在するを以て、専ら舟運の利大なれども、北部の交通に至りては、専ら車馬の力を借らざる可からず、故に南船北馬の稱あり。短距離の旅行には一輪車、轎等を用ひ、沙漠地方にては駱駝、西部高原に於ける氷雪上の旅行には犛牛を使用す。鐵道は近來他國の力により著しく發達し、其の幹線には京奉、京漢、粵漢等の各鐵道あり。京奉線は北京より渤海灣沿岸を経て、北東、奉天に至りて我が南滿洲線に連なり、京漢線は北京より南方漢口に達す、其の對岸に粵漢鐵道（漢口廣）起る、同線は其の一部已に開通せり。此の外津浦鐵道（天津浦）は滬寧鐵道（寧上海江）と江を隔てて相連り、山東鐵道（濟南青）亦全通し、雲南鐵道は東京より雲南に達せり。沿海諸港間には、本國及び日英等の諸船舶往復して航運に便ず。上海、廣

支那内地の旅行には兵士の護衛を附するも尙危険を免れず。

東寧波・厦門・芝罘等其の中心に當る。又揚子江本流及び支流は、我が日清汽船會社其の他の船舶上下し、水運頗る便にして、漢口・蕪湖・九江・鎮江・南京・岳州・宜昌等の開港場を連ぬ。大運河は、萬里の長城と共に支那の二大土工と稱せられ、隋の煬帝の時に開修せしものにして、北は天津より南は黃河・揚子江を貫きて杭州に達し、其の延長三百餘里あり、爾後屢修理を加へ、南北交通上の一大幹線となり、至大の便宜を得たるも、鐵道開通後其の利用大ならざるに至れり。

地方誌

支那本部

面積二十六萬方里
人口約四億

大運河



新版外國上

新版外國上

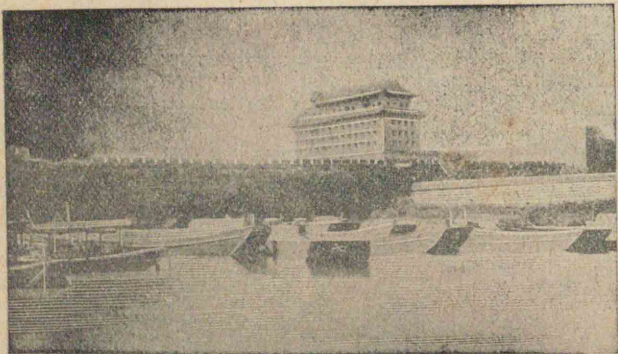
漢口	天津	重慶	北京	上海	福州
一三二	九〇〇	八〇〇	七〇〇	六六〇	六二五
萬人					

北京に我が公使館天津に總領事館あり。

地形上北嶺及び南嶺によりて、北部・中部・南部に分る、北部は黃河及白河等の流域にして、中部は揚子江の流域、南部は西北東江の流域及び臺灣海峽以南の沿岸地方を占む。
北部地方 (直隸・山東・山西・河南・陝西・甘肅) 黃河の冲積地は、土地低平、人口稠密にして、概生産力に富む、古來文化開け、幾多の國家興亡の地にして、史上の遺蹟頗る多し。

北京は京兆に在りて、天津の北西方に位し、一に順天府と稱す、清朝以來の首府にして、城壁を繞らし、廓内を更に内外二城に分つ、内城は舊皇城及び諸官衙各國公使館等の所在

北京城

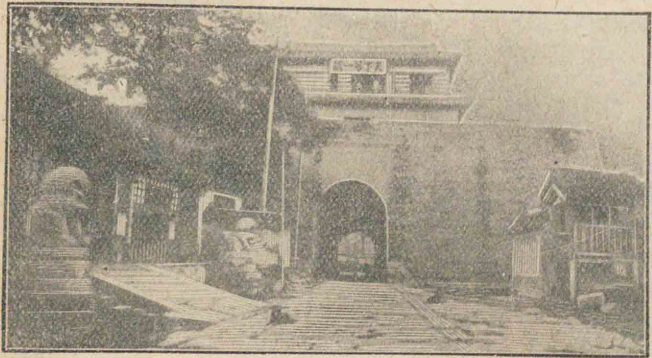


白河は冬季結氷するを以て天津の海上貿易は此の季節には休止す。

赤峯に我が領事館あり。

地に當り外城は市街地にして商業盛なり。京奉鐵道による時は天津開平山海關錦州等を過ぐべし、天津は白河に臨み、北京の關門に位し、夏季は塘沽と小船の往來繁く、又鐵路交叉し、北支那貿易業の中心に當り、百貨輻湊す、市街は井然として支那の模範市と稱せらる。秦皇島は渤海灣の不凍港にして、開平石炭の輸出多し。山海關は滿洲の境界點に當る。北京の北西には張家口、南西には保定あり、張家口は蒙古の關門に當り、保定はもと直隸省城の地にして、京漢鐵道の通路に位す。

山海關東關

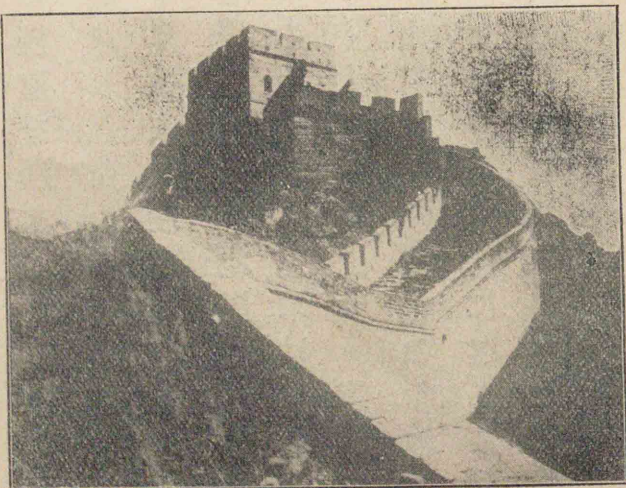


新版外國上

萬里の長城は匈奴防禦の爲めに築きしものなり。

を踰え谷に跨り、西方甘肅省の嘉峪關に到る、全長八百餘里、壁上騎馬を走らすべしと雖も、深く内地に至りては、只岩石の累累堆積せるのみ、處處あり、秦始皇帝に至りて大成し、爾後屢修理せしものなり。

萬里の長城



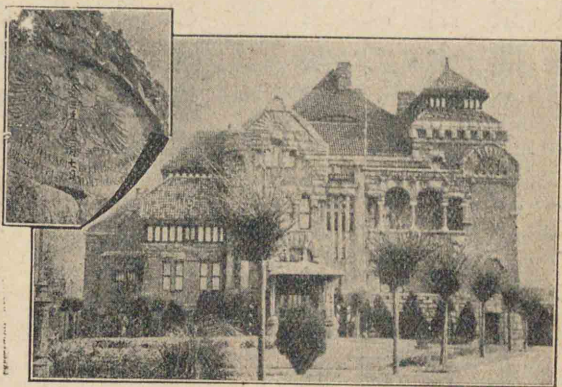
新版外國上

京漢鐵道は、支線を黄河の北にて太原に、南にて開封、河南に出す。太原は汾水に沿ひ、山西省城の所在地にして、西安、北京間の要路に當り、開封は黄河の屈曲點に位し、同河氾濫の災を蒙りしこと屢あり。河南は洛水に沿ひ、古の洛陽帝

青島

濟南に我が總領事館、芝罘に領事館あり。

即墨は田單火牛の計によりて敵を破りし處なり。



都の地として知らる。西安は渭水に臨み、古の長安の地にして史蹟甚だ多し。南西遙に漢中あり、之より南方蜀の棧道を過ぎて四川省に通ずべし。

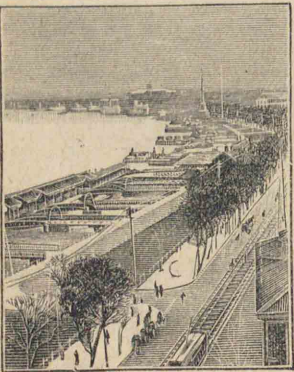
山東半島は人口最も稠密なり、大豆・繭・紬・石炭を産す。北岸に威海衛あり。其の西方なる芝罘は、開港場にして多く大豆を輸出す。黄海に面する膠州灣は嘗て獨逸の租借地なりしが、現今我が海陸軍之を占領せり。史上に名ある即墨是に近し。濟南府は山東省城の地にして、南方曲阜に、孔子廟あり。曲阜の北東に泰山あり、支那の名山なり。

新版外國上

新版外國上

上海に我が總領事館、蘇州、杭州に領事館あり。

上海

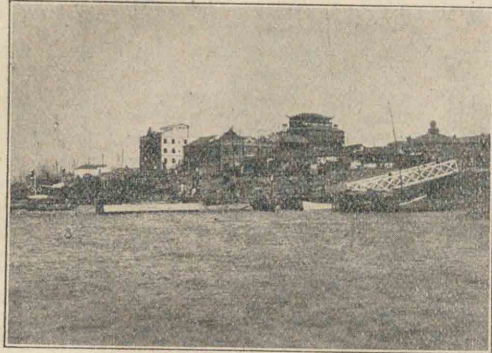


中部地方(江蘇・浙江・安徽・江西・湖北・湖南・四川) 人口稠密土地肥沃にして物産多く、米・茶・織物の産額他に比なし。江蘇・浙江二省の地は養蠶地として知られ、又浙江省よりは鹽を出すこと多し。揚子江岸には數多の開港場ありて、支那第一の富源地なり。上海は揚子江の支流なる黃浦江に沿ひ、江口の吳淞を外港とす、東洋主要の開港場にして港の設備よく整ひ、内外の船舶輻輳し、我が國との交通最も便利なり。生絲・茶・綿・絹布等の輸出多く、綿布・紡績・造船等の工業亦頗る盛なり。我より綿絲・綿布・石炭・水産物を輸入す。上海の南西に杭州、西に蘇州あり、共に大運河に沿へる開港場にして絹布の大産地に當る、附近は西湖・寒山寺等名勝多し。杭州に沿へる錢塘

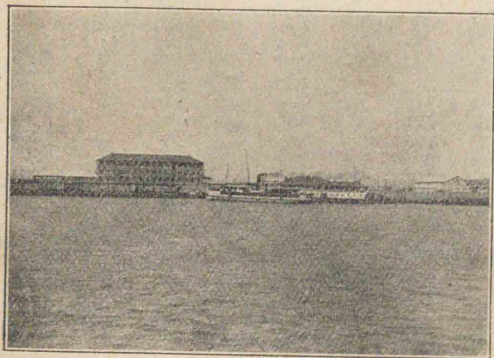
新版外國上

南京の下關は對岸の浦口と相對し共に停車場あり汽船津浦滬寧鐵路を連絡す。江寧には我が領事館あり。九江に我が領事館あり。

南京の關下



江は海嘯の現象を以て名あり。江寧は一に南京と稱し、舊都にして、絹布・陶器を産す、江を隔てて浦口に對す。南東に無錫あり、繭・生絲の市場なり。江寧の下流に鎮江、上流に蕪湖及び九江あり、鎮江は農産物の集散地にして絹の産亦多し、九江は鄱陽湖口に近く、茶・陶器の輸出多し、陶器は景德鎮を主産地とす。湖の北西に廬山屹立し、水上よりの眺望甚だ佳なり。鄱陽湖に注げる贛江の河畔に南昌あり、江西

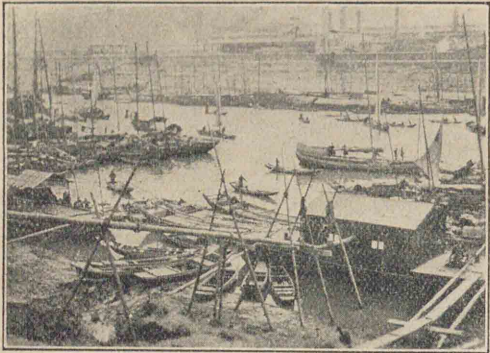


新版外國上

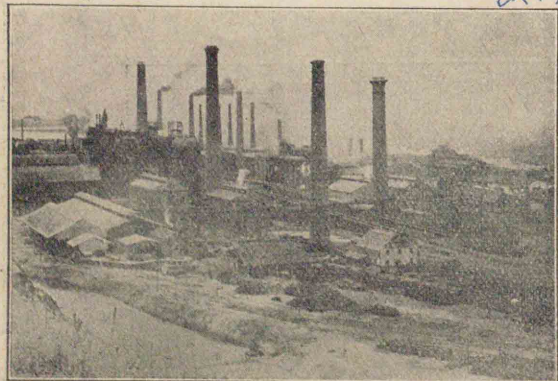
漢口に我が總領事館あり。

三市は近時革命戦ありし地なり。

漢水



省城の所在地にして、紙の産多し。更に揚子江を溯れば黄石港に近く大冶鐵山あり、原料を漢陽の鐵政局に供給するのみならず我が製鐵所も主としてこの鐵山に仰ぐ。漢口は、漢水の口に位し、水陸の交通甚だ便に、内地商業の大中心にして、外國貿易亦盛大を極め、磚・茶・綿を輸出し、綿・布・紙・水産物等を輸入す。漢江を隔てて、漢陽、揚子江を隔てて武昌あり、漢陽は鐵政局、機器局を以て、



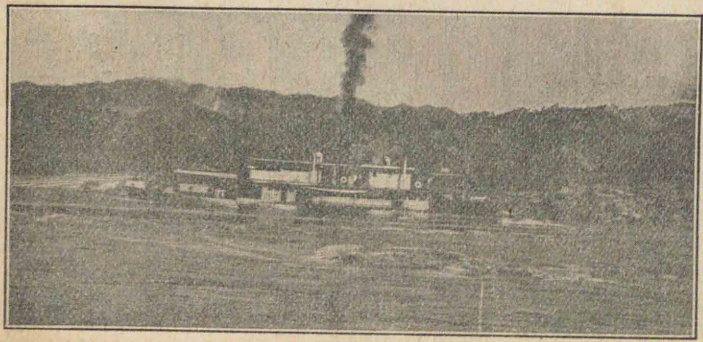
漢陽鐵政局(製鐵所)

新版外國上

長沙・沙市・宜昌に我が領事館あり。小蒸汽船及支那形船は此峽流を上下す、汽船は宜昌より重慶まで約三日半にして達すべき蜀亭號、五日にして達すべき蜀通號等あり、但下船は何れも二日を要し、冬季は全く汽船を通ぜず。

武昌は城塞地と省城とを以て知らる。揚子江は漢口より上は流速稍増加す、洞庭湖の口に岳州あり、湖は沅江・湘江等の水を受く、湘江は日清汽船會社の航路に當り、河畔に省城長沙あり、其の南東遙に萍鄉あり。又岳州より江を溯れば沙市・宜昌あり、宜昌は揚子江汽船航路の終點に當る。それより揚子江は急に狹窄して三峽の險となり、急流・峽・灘相連續し、舟の上下容易ならず、四川省の萬縣に溯りて漸く此の峻要を脱すと雖も、尙深谷をなす。

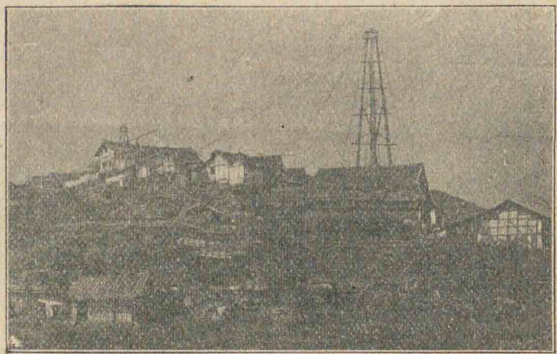
三峽に於ける蜀通の航湖



岳州
Yo-chuan

新版外國上

四川省の鹽井



嶽三方を圍み、南方揚子江を控へ、古來險要の地と稱せらる、盆地中各處に井を穿ち鹽水を得、地中より噴出する天然瓦斯或は石炭の火力によりて食鹽を製す。省城成都は盆地の中心に位す、古の蜀の都にして、水路縱横し、商工業盛大なり、附近は農産多く、且つ機業盛なり。重慶は嘉陵江口に位する開港場にして、本省物

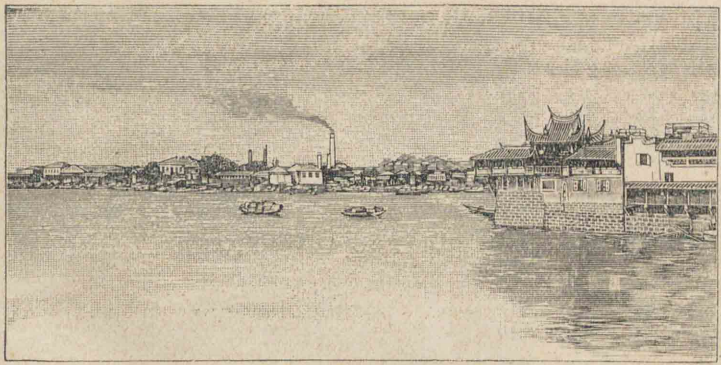
新版外國上

成都に我が總領事館、重慶に領事館あり。

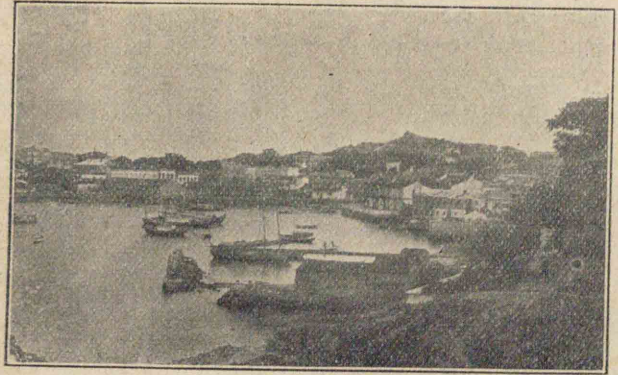
産の集散地に當り、揚子江汽船航路の終點なれども、小舟は尙上流に溯り得べし。岷江口に叙州あり、其西方川邊地方に打箭爐・巴塘あり、西藏に至る要路なり。

南部地方 (福建、廣東、廣西、雲南、貴州) 福建省は臺灣の對岸に位し、我が國の

福州の造幣局



不割讓を約せしめたる處なり。但土地丘陵多く、且つ肥沃ならざるを惜む。省城福州は閩江の下流に臨み、九江、漢口と共に茶の三大輸出港と稱せらる。其の門戸たる福州灣は、厦清佛戰役に清國艦隊の全滅せし所なり。福州の北に三都澳あり、茶の



新版外國上

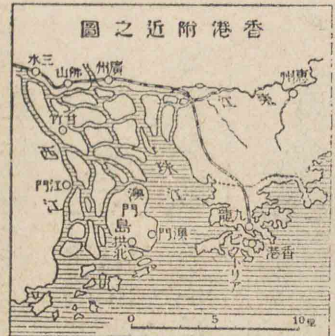
新版外國上

福州に我が總領事館、厦門・汕頭に領事館あり。

廣東・香港には我が總領事館あり。

雲南に我が領事館あり。

雲南の大理府には年々麝香の大量開かる、年々數百斤を輸出す。蒙自は鐵物の輸出多く錫鐵のみにても約千萬元の取引あり。



香港附近之圖

輸出を以て著はる。厦門は厦門島の南西に位し、福州と共に臺灣の淡水との交通頗る頻繁にして、又茶、砂糖を輸出す。汕頭は韓江に臨み、北方潮州と鐵路を通ず。廣州は珠江の下流に臨み、一に廣東と稱し、省城の所在地。南支那貿易の中心地に當り、工藝品の製作盛にして、生絲、絹布、茶、砂糖を輸出す。住民中、舢舨内に生活するもの數萬に達す。廣東灣口の東に香港、西に澳門あり、又雷州半島の東側を廣州灣と稱す。珠江の本流なる西江の流域は米産多く、河岸に南寧、梧州等の都市あり。雲南貴州の兩省は雲貴高臺をなし、雲南は省城地、蒙自、思茅、龍州、猛印、騰越の各地は開市場なり。海南島には兇暴なる蠻民居住す、柞蠶絲の産あり、瓊州を首邑とす。

蒙藏部及新疆省

蒙古

面積二十三萬方里
人口百八十八萬人

蒙古人の喇嘛僧



支那本部の北に位し、全土高原性にして、平均高度千米に達す。中央にゴビ沙漠横はり、南を内蒙古北を外蒙古と稱す、氣候酷烈にして盛夏の候日中は炎熱甚しきも夜間は降雪を見ることあり。住民は固有の蒙古族にして水草を逐ふて轉移し、家畜を愛する念強く一般に喇嘛教を信じ僧侶を尊ぶ。内蒙古の南部東部は漢人移住し拓殖其の歩を進めしより中央政府の治下に特別行政區となし其の一部を滿洲に

新版外國上

新版外國上

赤峰に我が領事館あり。

編入せり。北京の北に承德、遼河の上流に赤峰、張家口の北東に多倫諾爾あり、赤峰は鑛産地の中心に位し、多倫諾爾は商業盛なり。

外蒙古は自治にして喇嘛僧實權を掌る。庫倫は一にウ

ルガと云ふ、西比利亞に至る要路に當り外蒙古の中心地に

して、喇嘛の大寺あり。賣買城は其の北に當り、西比利亞の

キヤフタと相接し、支那茶と西比利亞毛皮との取引行はる。

新疆省

面積九萬方里
人口二百萬人

支那の西境に位し、天山山脈によりて地勢南北の二部に分たる。天山南路支那土耳其斯坦はタリム河の流域に屬し、タクラマカン沙漠中央に横はる。此の地は古の西域にして、嘗て文化大に開け、今尙古文書其の他遺蹟の沙漠中に

此地方にてヘデ
ン、スタイン及
び我が西本願寺
僧侶の發掘せし

ものには貴重品
甚だ多し。

ホータンの商業市街

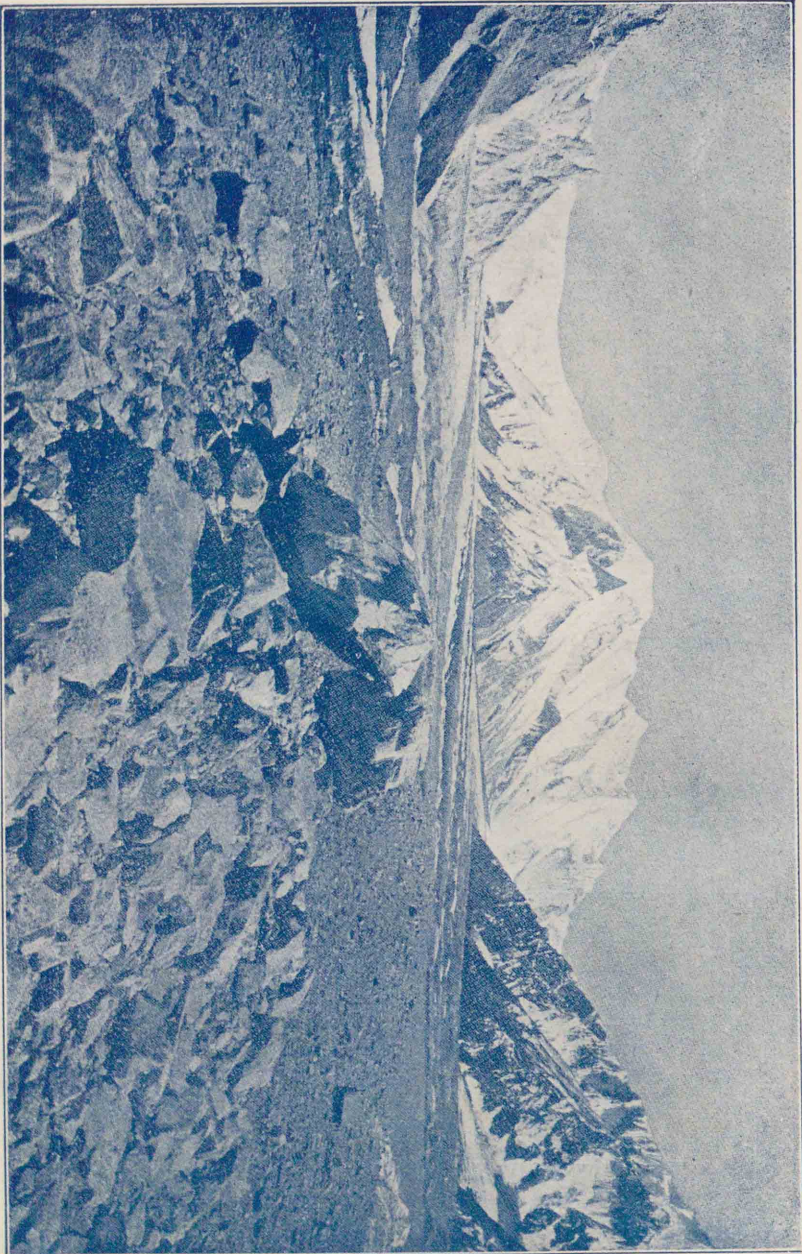


地なり。
チャ)は主要の都會にして、迪化は省城の所在

發掘さるるもの少なからず。
都邑にはカシユガル・ヤルカン
ド・ホータン等あり。
ホータンは絹布及び崑崙の玉を産す。天山北路伊犁は、亞細亞露西亞に至る要地なり。中部の迪化(烏魯木齊)海西部の伊犁(クル) Kalpa



Yarkand



崇ボイラソの系山ムラコラカ

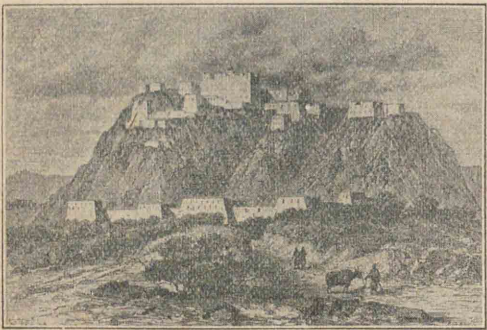
青海

崑崙山脈東西に連亘し、土地極めて高峻にして揚子江・黄河等の水源をなす、此處に横はれる鹹湖青海は、海拔三千餘米に位し、魚鹽の利あり。此の地は人口極めて少なく、都邑の見るべきものなし。

西藏

青海を合せ面積七萬八千方里人口二百萬人

西藏は北に崑崙、南にヒマラヤ、西にカラコラム等の各山脈ありて之を圍み、尙内部にトランスヒマラヤ其の他の山脈横はる。世界最高の高原地にして、平均の高度一萬五千尺に達し、沙



薩 拉

漠・鹹湖等多く、氣候酷烈、交通最も困難なり。前藏・後藏の二部に分る、牧畜盛にして羊毛・麝香・鹿・犛牛・羊・砂金を産す。住民は一般に喇嘛教を信じ、教王政權を握ると雖も、支那より官吏を派して之を監督す。首府拉薩は前藏の西部に位しサンポー(ブラマプトラ)河の支流に沿ひ、教王達賴喇嘛の壯嚴美麗なる宮殿ここに近く存す。亞東は印度に近き開市場なり。

列國の租借地及び領地

關東州 我邦の租借地にして、前に説ける所なれば之を略す。

威海衛 山東半島の北岸に位し、良港を控ふ、明治二十七八年の役、清國北洋艦隊の全滅せし處にして、該戰役後一

新版外國上

新版外國上

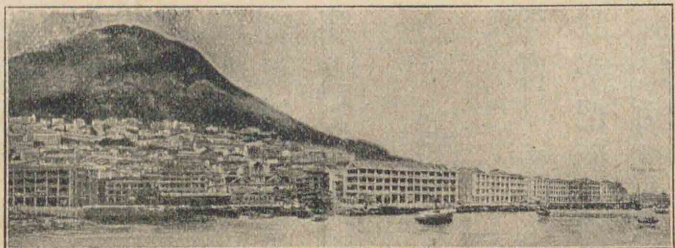
時我が守備隊を置きしが、後英吉利國の租借地となれり。

膠州灣 山東半島の南岸にあり、威海衛と腹背相隔つ、其の港を青島と稱す、獨逸國之を租借し、東洋艦隊の根據地と定め、大學を設け、東亞及び大洋洲の策源地と定め、又港の一部を自由港となし、西方濟南府に鐵道を通じ、沿道の鑛山を採掘する等、其の經營周到を極めしが、大正三年我が軍は、此の地域全部と鑛山・鐵道等を占領せり。

香港

Hong Kong

割讓せし一小島なり。島内のウキクトリアは自由港にして東洋貿易の大中心に當り、本邦より石炭・燐寸・水産物等を



香港

ウキクトリア人口
三七萬人

輸入す、支那人の居住者多けれども、市街家屋等純然たる歐洲式なり。對岸の九龍も今や英國の有となり、附近六十方里の地も亦同國の租借地となれり。

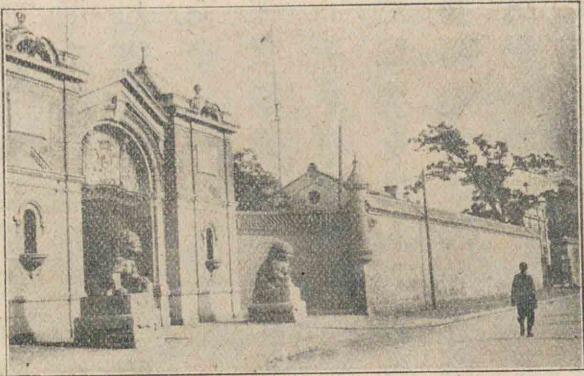
澳門 澳門は、附近の小島二三と共に葡萄牙國の領地なり、香港の自由港となりしより貿易次第に衰へ、現今見るべきものなし。

廣州灣 廣東省雷州半島の東岸に位し、印度支那保護の必要上より佛國之を租借せり。

沿革及び我が國との關係

沿革 支那は世界の舊國にして、古來王朝の興廢甚だ繁く我が紀元の頃より支那本部を一統せし國家に、周・秦・漢・晉・隋・唐・宋・元・明・清の十朝あり。清は約二百六十餘年前、滿洲よ

北京の日本公使館



り起りて國內を統一せしも、我が天保年間に英國と戦ひて香港を失ひ、其の後露國に烏蘇里地方を割讓し、日清戰役には臺灣を我に讓り、次で關東州・膠州灣・廣州灣・威海衛等の租借を諾するの止むを得ざるに至れり。近時革命起り清朝仆れて共和國となれるも内亂止む時なく未だ完全なる立憲政治を行ふ能はず。

我が國との關係 本邦と支那と

は古來特種の關係を有し、我が國は往昔支那の文物制度に倣ひ、改革を實行せしこと屢にして、大化の改新の如き實に其の著しきものに屬す。然るに支那は自尊保守の極、世界

の大勢に遅れ以て今日に至れり、只現今軍事、教育、殖産、工業等の任に當る人士中、我に學びしもの多く、改新の曙光漸く認めらるるに至りぬ。特に大正四年の日支條約は、滿洲、東蒙古、山東省、福建省に關し、我が優越なる權利を認め、益善隣の度を高めたれば、我が國の人士は大に是に留意し、彼を誘掖し、彼を善導し、彼と提携し、以て益友邦の誠を致さざるべからず。

日本へ輸出額一億八百萬圓。
日本より輸入額一億九千二百萬圓。

彼我兩國の貿易は年と共に進歩し、本邦より綿絲、綿織物、銅、石炭、木材、燐寸及水産物等を輸出し、我が國へ棉花、油粕、大豆、苧麻等を輸入し、其の總額約三億一百万圓に達せり。又本邦の船舶は、沿海各地は勿論、長江及び其の支流にも數多の帆影を認めざるなく、邊境尙我が商品の活躍するあり、特に揚子江流域に於ける商事の活動最も著し。

新版外國上

新版外國上

亞細亞露西亞

Asiatic Russia

面積約百萬方里
人口約三千四百萬

亞細亞洲の北部及び北西部を包含し、西比利亞、中亞細亞及びカフカズより成る。全土、露西亞の版圖なり。

西比利亞

Siberia

面積八十一萬方里
人口約一千萬人

地文誌

位置・境域 西比利亞は土地東西に長く、東方太平洋岸より、西方ウラル山脈に及べる地域を占め、南西は中亞細亞に接す、面積我が國の約十九倍に達す。

沿岸 北氷洋岸は出入少なく、オビ河口、入江を成して陸地に入り込み、其の北東にタイミル半島あり、其の尖端なるチェリユースキン岬(北東岬)は亞細亞洲の最北點に位し、北

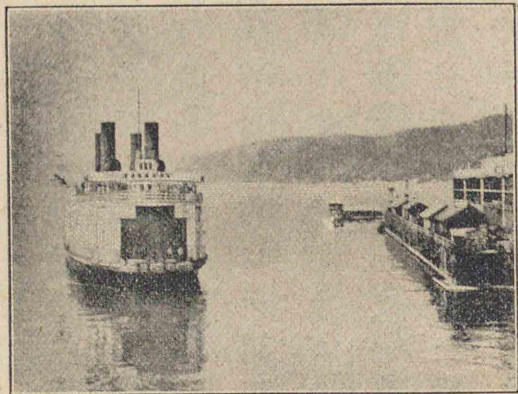
氷洋中には新西比利亞群島散在す。最東端なるデシユネフ岬(東岬)は、北亞米利加のアラスカと相對す。太平洋沿岸は屈曲に富み、其の中、ベリリング海にコマンドルスキー群島横はり、阿哥斯科海の西方なる樺太島と本陸との間には間宮海峡を挟み、其の南なる日本海面にはベテロ大帝灣あり、灣内に浦鹽斯德港横はる。

地勢 ウラル山脈西方に連亘し、アルタイ山脈・サヤン山脈・ヤプロノイ山脈南部に横はり、スタノウ・イ山脈は東岸に沿ふ。以上の山地以北は世界第一の大平原にして、地勢北方に向ひて傾斜せり。地勢上四帯に分つべく、北部は凍土帯と稱し、地衣蘚苔密生し、其の下には泥炭層あり、地下數百尺に至るまで凍結し、盛夏の候、地表僅に溶解して、蘚苔多き水濕地を成す。中部は森林帯にして針葉樹の密林多く、其

新版外國上

新版外國上

湖ルカイバ



の南は曠野帯と稱し、農産に富めり、尙最南部は山嶽帯にして土地次第に高起して國境に達す。

水系 北氷洋面のオビ・イェニセイ

Obi Yenisei

レナの三大河は何れも支流に富み、水量大にして交通に便なれども、冬

Lena

季永く結氷し、下流は陽春尙氷に鎖さるるに拘らず、上流地方先づ溶解して下流に氾濫す。結氷期には河

身は橋道と化す。太平洋面には黒龍江あり、江は烏蘇里・松花江其の他の水を容れ、水量多く交通便なり。冬季は均しく凍結し、河口のニコライエフスクより上流地方と橋を通じ、以て通信運搬に資す。

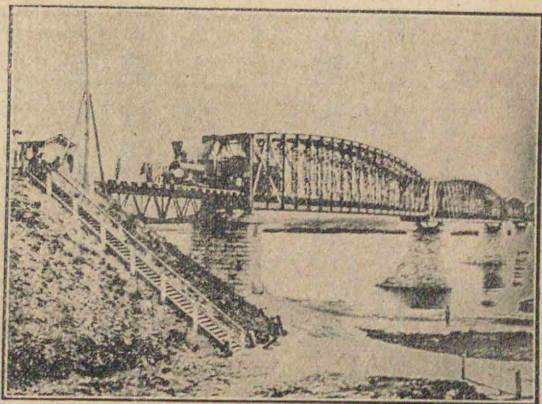
Nikolayevsk

バイカル湖は冬季結氷湖面を閉つぎて氷上に汽車を通せしことあり。

湖沼はバイカルを主とし、滿洲との境に興凱湖あり、バイカル湖は三日月形をなし、アンガラ河によりてイニセイ河に排出す、深度千五百米世界の最深湖と稱せらる。

氣候 土地北方に開き、北氷洋の寒風を受け、南方に山地ありて海面及び暖地よりの風を遮るを以て、氣候酷烈を極め、レナ河に近きヴェル

橋鐵の河イセニエ



ホヤンスクの如きグリーンランドと比すべし。北部は冬季太陽を見ざること數月に達し、夏季は太陽永く地平線下に没せず。雨量は一般に少なく、沿海は冬季悉く凍結して一の不凍港を有せず。

人文誌

住民政治 土地廣大なれども人口甚だ少なく、殊に北部を甚しとす。住民は滿洲族蒙古族等の土人と、スラヴ種なる露西亞人とあり。露西亞本國は嘗て此の地に囚徒を送りしが、今や移民を奨勵し、大に意を開拓に用ふ。行政上西部・東部・黒龍江沿海の三部に分れ、西部は内務省之を直轄露西亞本國にては之を西比利亞と呼はずするも、其の他は總督を置きて之を統治す。其の區劃次の如し。

東部西比利亞

Eastern Siberia

イニセイスク省

Yeniseisk

イルクツク省

Irkutsk

ヤクーツク州

Yakutsk

外バイカル州

Transbaikhal

黑龍沿海地方
Amur-Primorsk

黒龍州
Amur
沿海州
Primorskaya
サハリン州
Sakhalin
勸察加州
Kamtschatka

西部西比利亞
Western Siberia
(即ち西本國の一部)

トボルスク省
Tobolsk
トムスク省及びアルタイ州
Tomsk Altai

西比利亞鐵道は燃料に薪炭を使用すること多し。
化石象牙はマンモスの牙にして長大を以て知られ、彫刻用として貴重せらる。

西比利亞の穀倉と稱せらる。農民は馬・犬・馴鹿を飼ひ、之を交通運搬に使役す。森林は甚だ豊富なれども、交通不便のため利用未だ十分ならず。森林帯及び以北には熊・狐・貂・狼その他の毛皮獸甚だ多く、北部のレナ河口附近及び新西比利亞よりは、化石象牙を産出す。鑛業亦盛にして山嶽地方より金銀白金等を産す、又石炭・石墨の産あり。太平洋面は

新版外國上

西比利亞の馬車



水産に富み、臘虎・臘肭獸・鮭・鱒・鱒・鯨・鯨等を産す、又黒龍江其他河川よりも多く鮭・鱒を産し、爲めに本邦人の出漁者夥しく、漁獲物は主として本邦に輸送せらる。
交通 大河多きも結氷期間は何れも舟運の便を缺く。犬・馴鹿及馬は冬季橇の牽引用に缺く可からざる交通機關なり。

新版外國上

西比利亞鐵道は、西はウラル山地のチエリアピンスクに於て本土の鐵道と連絡し、これより東してオムスク・クラスノヤルスク・イルクツク等の都邑を經、バイカル湖畔を過ぎ、東方黒龍江畔のカリムスカヤより東支那鐵道を出し、浦鹽

斯德に達するものにして、歐亞交通の幹線をなし、又トムスク其の他へ支線を出す。西比利亞鐵道幹線の内、黒龍江沿岸の大部は尙工事中なりしが、近時全通し浦鹽斯徳の北より烏蘇里河に沿ひハバロフスクに至り、更に本流に沿ひブラゴベシチエンスクを経てカリムスカヤに達するに至れり。

地方誌

トムスクはオビ河の上流に位し、西比利亞首要の都會にして、水陸の便よく、大學、博物館等あり、近傍より砂金を出す。クラスノヤルスク・イエニセイスクは、イエニセイ河に沿へる都邑なり。

イルクツクはバイカル湖の西岸に近く、東部西比利亞總督府の所在地にして、茶、毛皮の取引盛なり。哈克圖は南方

都邑人口	三
イルクツク	一三
トムスク	一二
浦鹽斯徳	九
クラスノヤルスク	九
チタ	八
ブラゴヴェシチエンスク	六
チエンスク	六
ノヴラニコラ	六
イエフスク	六
バルナウル	六
ハバロフスク	五

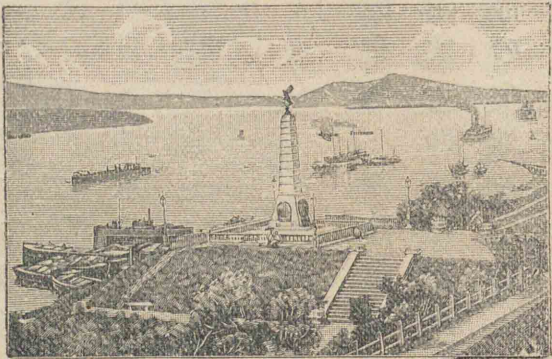
新版外國上

新版外國上

イルクツク・ハバロフスク・ブラゴヴェシチエンスクに我が領事館あり。

浦鹽斯徳に我が總領事館あり。敦賀・浦鹽間の航海は約四十二時間を要す。

浦鹽斯徳の一部



南方の浦鹽斯徳はベテロ大帝灣内に位し、軍港と商港とを兼ね、露領東面の要鎮にして、水陸交通の便よく、貿易盛なり、冬季は碎氷船により、艦船の出入に便ず、我が敦賀と定期船

支那の境土に接す、ヤクーツクはレナ河の左岸に位し、イルクツクと水陸相通じ、毛皮・象牙の集散地に當り、チタは、外バイカル州の首府なり。Oita
ハバロフスクは黒龍江畔第一の要津にして、總督府の所在地なり。ブラゴヴェシチエンスクは黒龍州の首府にして、支那の愛琿城と相對し、附近より砂金を産す。南方のニコリスクは軍隊の大駐在地なり。尙

の往復あり。

ニコライエフ
タ・ペテロス
に我が領事館あり。

黒龍江口のニコライエフスクは漁業の中心地に當り、又北樺太に渡る要津なり。 勘察加半島には火山多し、東岸のペトロパウロスクを首邑とす。 沿岸水族多く、コマンドルPetropavlovskスキ一群島は、夏季膾炙獸の群集するを以て著る。 樺太島は石炭・石油・水産物に富む、西岸にアレキサンドロフスクAlexanderovskあり、本島の首邑にして漁業の中心地なり。

中亞細亞

面積約二千二百萬方里
人口約一千一百萬

地文誌 西は裏海、南はイラン高原に接する地域なり。北西は土地低平なれども、南東部は高起してバミル高原其他の山地となる。 氣候は大陸性にして雨量少なく寒暑の差甚しく、河畔少許の地を除き、大部は草原・沙漠なり。 裏

新版外國上

新版外國上

海・アラル海・バルハシ湖等鹹湖多し。 裏海の沿岸は土地低平にして、湖面は地中海面下二十六米に在り、ウラル河其の他の諸水之に注ぐ。 アラル海は裏海の東方に位し、アムシル兩河之に注ぎ、バルハシ湖には伊犁河注入す。

人文誌

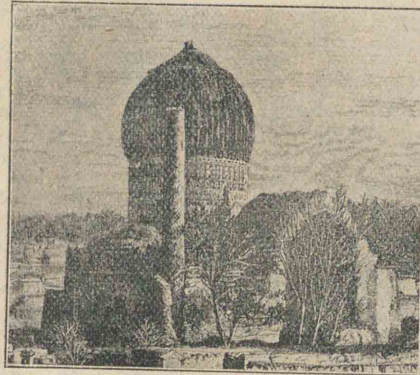
沙漠地方には土耳其族多く、草原地方にはキルギス族居住す、大抵遊牧民なれども、アムシル兩河畔及び各處の沃地には、農業を營む定住民年年増加し、米・綿・果實・生絲等を産す。 草原地方の遊牧民は駱駝・牛・馬・羊等を飼養し、羊毛を産す。 何れも回教を信ず。 外裏海鐵道は裏海の東岸クラスノヴォドスクより起り、メルフ・サマルカンドKrasnovodsk Meru Samarkand

キルギス人



都邑人口 萬人
タシケント 二七
オムスク 一四
コーカンド 一二
サマルカンド 九
アンゲジャン 八

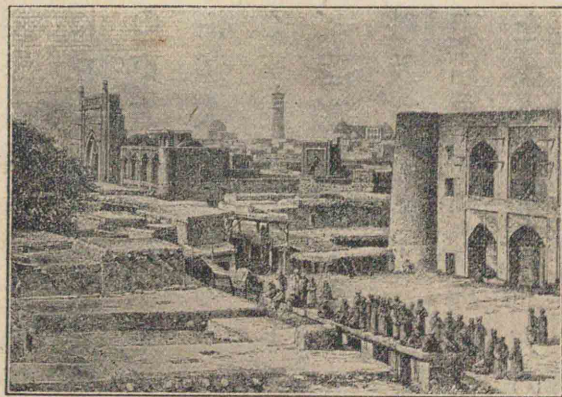
帖木兒の墓



ドを経て支那の西境に及び、支線は一はメルフよりアフガニスタンに達し、一はアンヂジャンの西よりタシケントを経て、歐羅巴露西亞のオレンブルグに至り、軍事上通商上重要な交通路なり。行政上草原トルキスタン及外カスピの三地方に分る。ボハラ・ヒヴワは保護國なるも獨立するに至らん。

地方誌

タシケント
はトルキス
タン地方の
中心に位し、
總督府あり、
隊商去來し



新版外國上

帖木兒は我が足利初世の頃歐亞を震動せしめし勇將なり。

都邑人口 萬人
チフリ 三三
ベクト 二四
ベツム 四

高加索山脈



高加索 (Caucasia)

面積約三萬方里
人口約一千三百萬

地文誌

裏海・黒海の間に挟り、北は歐羅巴露西亞に、南は波斯及び亞



新版外國上

商業盛なり。サマルカンドは其の南に位し、勇將帖木兒の舊都にして其の墳墓尙存し、商業盛なり。オムスクはオビ河に沿ひ、ステツプ地方の首府にして總督駐在す。ボハラ・ヒヴワは共にアム河に沿へる酋長國にして、各同名の首府あり、トルキスタン總督之を管す。

細亞土耳其に境す。高加索山脈中央に連互して、本土を南北の二部に分つ。北部は殆ど草原にして、南部は地味肥沃なり。此地は露領なるも獨立するに至らん。

人文誌 人種數多に分れ、種族多けれども、カフカズ族を主とす。其のジョルジア種は、性音楽を好み、容貌秀美を以て名あれども、半開の域を脱せず。行政上、北部と南部とに分る、北部は牧畜業、南部は農業を主生業とし、小麥葡萄等の産多し。

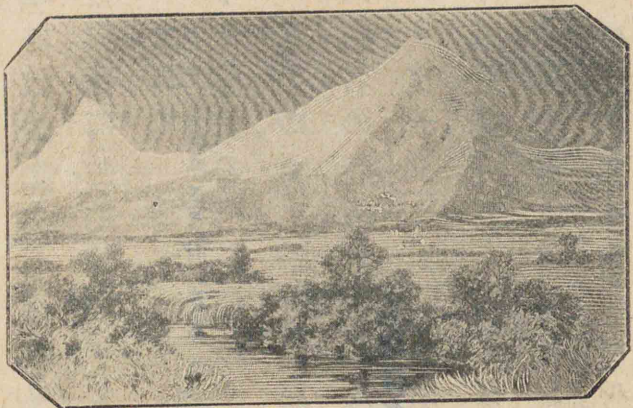
地方誌 チフリスは外高加索に在り、總督府の所在地にして露領亞細亞第一の大都會なり。バクーは裏海に臨み、世界第二の石油大産地にして、西方黒海岸のポチ及びバツームに鐵道を通ず。バツームは石油の輸出地として著はれ、本國オデッサとの交通便なり。

バクーよりバツームに鐵管を通じて石油を輸送す。

新版外國上

新版外國上

ア ラ ラ ト 山



亞細亞土耳其

面積約九萬方里
人口約千八百萬

地文誌 亞細亞洲の西部を占め、東はイラン高原に境す、北東部には山嶽多く、アララット山特に名あり。アルメニア・小亞細亞・メソポタミア・シリアより成る。氣候は概炎熱なれども、海岸地方は稍溫和なり。小亞細亞半島は黒海と地中海とを分ち、シリア地方と共に一帯に高原を成す、エウフラト・チグリス兩河の流域にメソポタミア平原あり、此の地方は上古文化開けし地にして、舊址尙存し、當時の盛況を追想せしむ。死海はシリアに在り、有名なる鹹湖

にして、魚介の生活に適せず、故に此の名あり、其水面は地中海面より低きこと千三百尺なり。

人文誌 住民は土耳其族多數を占め、國教を信ず。此の地は政治上土耳其の外、英、佛、米、希等之を統治せん。物産には穀類、葡萄、生絲等あり、又牧畜行はる。

土耳其 嘗て歐亞に跨れる大國なりしも次第に縮小し、今や黒海の南を統治する小國となれり。

スミルナ 附近の島嶼を併せ希臘の領土とならん、西岸に同名の港あり、希臘人商業の實權を握る、乾葡萄を輸出す。

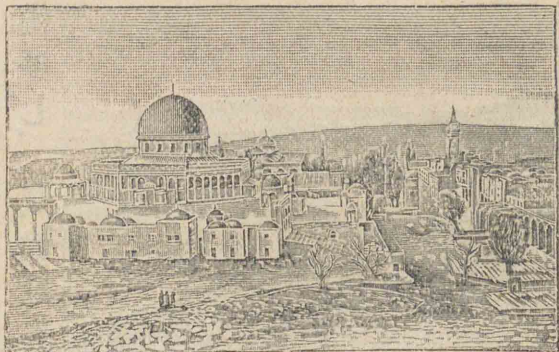
メソポタミア 波斯の西に位し、嘗て文化大に進みしが、今は荒廢せり。

パレスティン ヨルダン谷地の西に位し、古の猶太國に

都邑人口	萬人
スミルナ	三八
ダマスカス	二五
バグダード	二五
イエルサレム	九
メツカ	八
メヂナ	四

土耳其	面積	二萬五千方里
	人口	約六百萬
スミルナ	面積	五千方里
	人口	二百五十萬
メソポタミア	面積	三萬方里
	人口	二百萬
パレスティン	面積	三千方里
	人口	三十萬
シリア	面積	二萬方里
	人口	三百萬
アダナ	面積	三千方里
	人口	四十萬

ムレサルユイ



して、二千年を経て漸く復活し英國之を委任統治せん。

とす、基督の墳墓あり、巡禮者絶えず。

シリア 佛國委任統治せん。

アルメニア メソポタミアの北部に位す、地勢山地に富む、住民はアルメニア人にして耶蘇教を信ず、エルゼルムを首邑とす。

地中海沿岸のアダナ

と共に米國委任統治

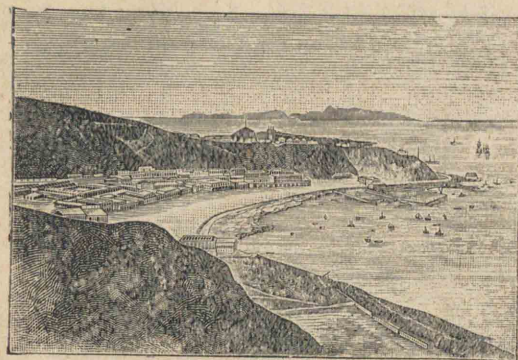
亞刺比亞の紅海沿岸は、ヘヂヤス酋長國と共に英國の統治地に屬すべし。

メツカは回教の始祖ムハメッドの出生地、メヂナは其の墳墓地にして巡拜者多し。

亞刺比亞

Arabia

地文誌 西部亞細亞に位する世界第一の大半島なり。全土一様の高原にして沿岸屈曲に乏しく、斷岸迫り、内部は沙漠多し。氣候は炎熱にして降雨少く、物産には棗椰子、珈琲、護謨等あり、又古來亞刺比亞馬の產地として知られ、又波斯灣よりは眞珠を産す。



人文誌 住民はセム族の亞刺比亞人にして、嘗て歐羅巴洲の暗黒時代には、數學・天文・地理等の發達を以て知られしも、爾後次第に衰頽に向ひ、今尙未開の域を脱せず、多くは遊牧民なり。

新版外國上

新版外國上

地方誌

Hedjaz

ヘヂャス酋長國大部を占め英吉利國これを保護すべく、數多の部落に分る。オマーン酋長國は東南岸に在り、マスカットを首府とす。アデンは亞刺比亞第一の港にして、紅海の口を扼し、東洋航路の要衝に當る、バブエルマ

Muscat

Aden

ンデブ海峽のペリム島と共に英領

Perim

に屬す。

イラン地方

Iran

總說

波斯

地文誌 チグリス河の東、インダス河の西に於ける高原地方をいひ、人南方一帯は亞刺比亞海・波斯灣に面す。内地は概ね炎熱にして雨少な

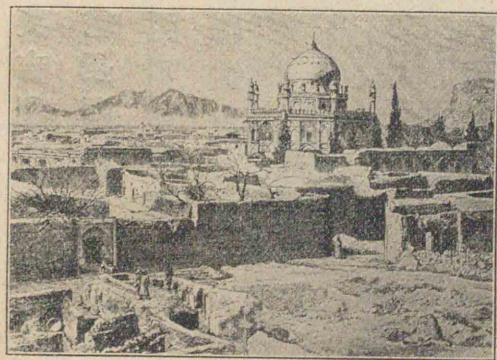


く大部は沙漠なり、唯周圍の山地・河湖の沿岸のみ稍肥沃にして耕作に適す。
人文誌 住民はイラン族にして回教を奉じ、遊牧を事とするも河岸湖畔等肥沃地には定住民あり農業行はれ、穀物・果實を産す。

地方誌

波斯・アフガニスタン・ベルチスタンに分る。
波斯 高原西部の大半を占むる王國にして、物産は穀類・煙草・絹

テヘラン



面積約十萬方里
人口九百五十萬人
都邑人口 萬人
テヘラン 二八
タブリーズ 二〇
イスバハン 八

面積約四萬方里
人口約六百萬人
都邑人口 萬人
カブール 一八
カンダハル 四
ヘラット 二

布敷物等なり。首府テヘランはエルブルズ山脈の南に在りて、隊商貿易の中心地なり。西境山地に近くタブリーズあり、亞細亞土耳其に至る要路に當る。テヘランの南方にイスバハンあり、波斯灣岸のブシールに至る要路に位す。
此の國は近年立憲政體となりたれども、國運振はず、英露兩國勢力の權衡上、僅かに獨立を保てり。

アフガニスタン イラン高原の北東部を占む、國內は數多の酋長ありて之を支配し、其の中カブールの酋長全體を統一するも、英露兩國の權衡上楔子國として存在す。北西にヘラット其の南方遙にカンダハルあり。

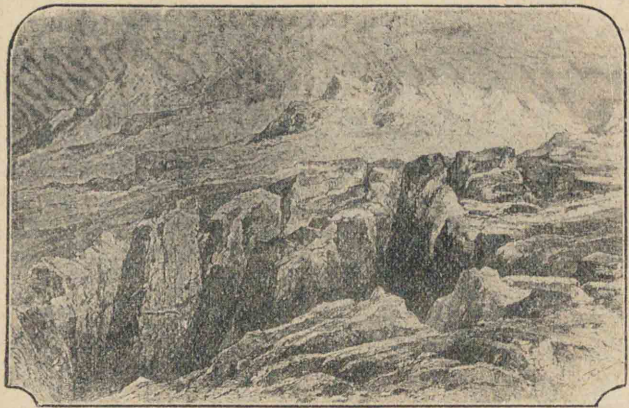
ベルチスタン アフガニスタンの南に在り、北東部は英國の直轄地なるも、他はケラットの酋長これを統一して英國の保護を受く。ケラットの北にケタあり、印度・アフガニ

スタン間の要路に位す附近に大炭田あり。

印度 面積二十五萬方里
人口約三億

地文誌

ヒマラヤ山



位置 亞細亞洲の南部に位し、北はヒマラヤ山系によりて西藏に境し、東はベンガル灣及びバルマ(ビルマ)に、西はスリマン山脈と亞刺比亞海Sulthanとに接し、南部は三角形の大半島を成す。
地勢 印度半島は地勢上、ヒマラヤ山地、印度平原、デカン高原の三部に大別せらる。ヒマラヤ山系は印度の北境を限り、東西の延長約六百

新版外國上

新版外國上

里、平均高度二萬尺以上に達し、世界最高の山脈なり。其の南斜面をヒマラヤ山地とし、其の南方一帯は印度大平原にして、恒河・ブラマプトラ・インダスの三大河之を灌溉す、西の一部には沙漠あれども、他は地味肥沃にして農産に富み、印度の寶庫と稱せらる。デカン高原は半島の大部を占む。
氣候 各地一様ならざるも、平地及び高原地方は概*炎熱なり。雨量は南西季節風期に非常に多量にして、アッサムAssam地方は世界第一の多雨地なり、然れども北東季節風期はコロマンデル沿岸地の外全く乾燥せり。又ヒマラヤ山地は高さ準じて氣温を異にし、山頂は終歲白雪を戴き、氷河斷ゆることなし。

人文誌

ドラウヴィダ族
として最古の民族
デカンに住す

住民

人種はヒンズー族を主とし、僧族・土族・農商及び奴隷の四に分れ、階級の制厳にして、爲めに發達進歩を害すること少なからず。四族中、僧族第一位を占む。印度は佛教度起源の地にして、釋尊の遺蹟甚だ多けれども、今は印度教最も隆盛にして、回教之に次ぐ。此の國は上古大に發達し、文化の見るべきもの少なからざりしが、今は大に衰へたり。



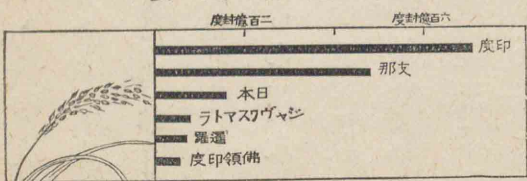
政治 半島の大部は英領に屬し、バルマ・ベルチスタンと共に之を印度帝國と稱し、英國王は印度皇帝を兼ねて君臨し、大總督を派遣して之を統轄せしむ。行政上之を直轄部

新版外國上

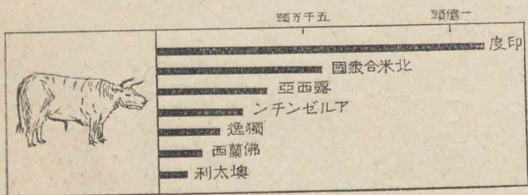
新版外國上

と藩部とに分ち、直轄部はバルマ・ベンガル・アッサム、其の他の州に分れ、大總督の任命せる知事ありて之を治む、藩部は數十に分れ、ハイデラバードを主とす、何れも駐在官を派遣して藩王の政治を監督せしむ。

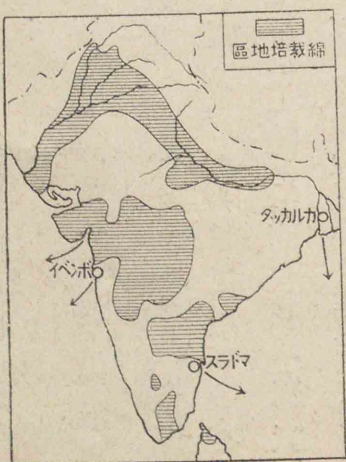
米産額比較



牛頭數比較



綿栽培地



生業 印度は土地廣大、地味豊饒なれば、農産物甚だ多く、綿・麥・鴉片・藍・茶等の産額頗る夥

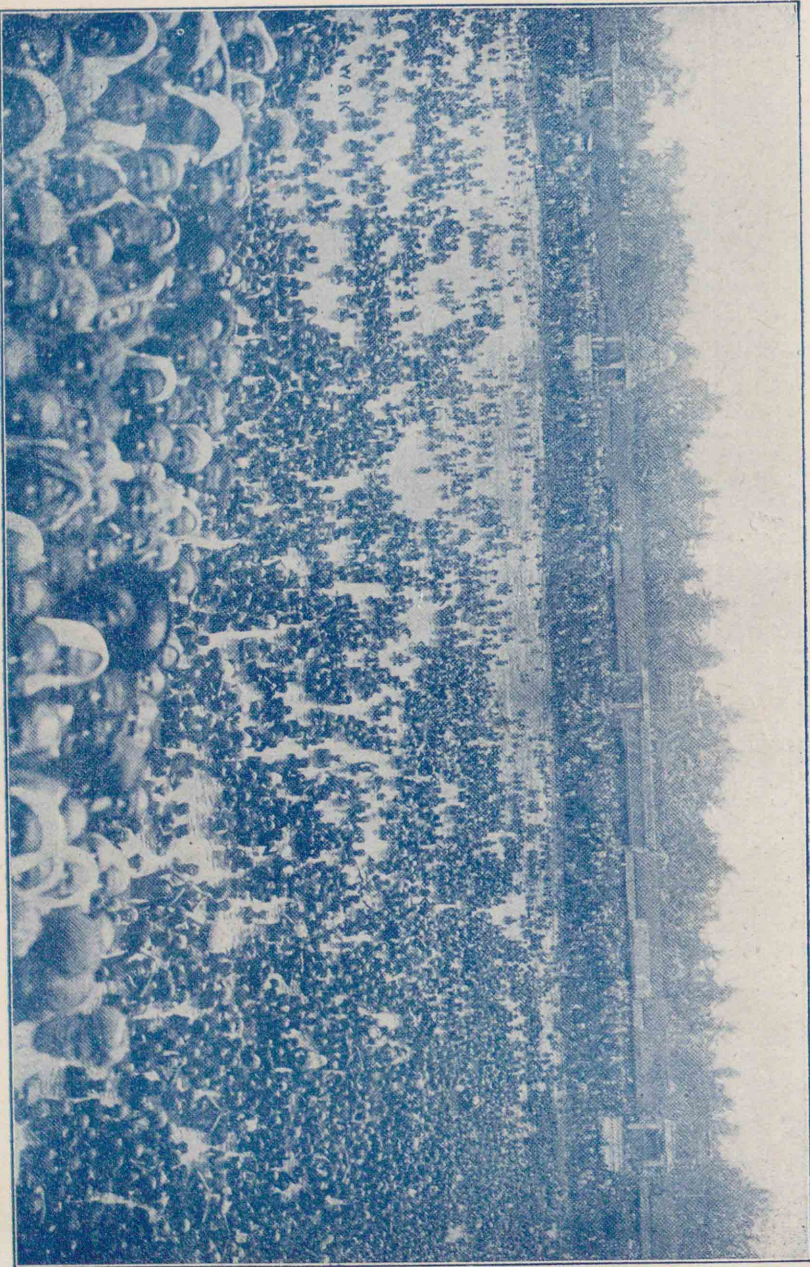
しく、又牛及び象は主要たる家畜にして、牛の頭數は世界無比なり。鑛産物には金石炭・寶石あり、森林は榕樹其の他鬱生し、特にチーク・紫檀・黒檀等の材木に富む。かく原料品豊富なるを以て、工業は近來大に發達し、綿絲紡績・織物等の製造盛に行はる。貿易の盛なること亞細亞洲中第一にして、主として英本國と取引し、米・綿・麻類・鴉片・茶等を主要貿易品とす、我が國との貿易も非常に發達し、輸出入總額二億圓を超え、羽二重・メリヤス等を輸入し、我が國へは綿米を輸出す、我よりの輸入少きは惜むべし。

交通 鐵道の發達、亞細亞洲中第一に位し、且つ河川運河の舟運頗る便利にして、我が國とは定期船往來す。



樹 榕

日本への輸出高
一億七千九百萬圓。
日本より同輸入高
七千一百萬圓。



沿河のアージメヒルけ於にメレナム

都邑人口

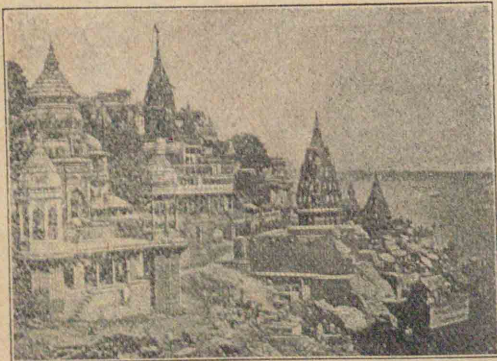
カルカッタ	一、二二二
ボンベイ	九八
マドラス	五二
ハイデラバード	五〇
デリー	二二三
ラホール	二二三
コロムボ	二一
ベナレス	二〇
アラハバード	一七
カラチ	一五
バトナ	一四
スリナガル	一三
ベシヤワル	一〇

地方誌

印度の首要部分は主として恒河流域のヒンドスタン地方に在り。デリーは此の國の首府にして、恒河の上流地方に位し、舊モゴール國の首府たりし處なり。恒河は運河縦横し灌漑の便宜し、同河の流域にはアラハバード・ベナレス・ガヤ・ブダガヤ・パトナ・カルカタ等の都邑あり。ベナレスはヒンヅー教の靈地にして、寺院信者の恒河に沐浴潔齋するもの其の幾百萬なるを知るべからず。

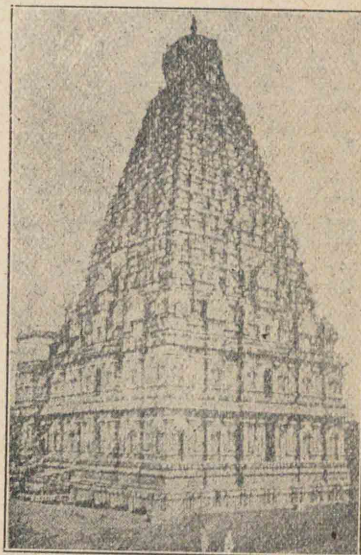
ブダガヤは釋尊の靈地にして、其

ベナレス



カルカッタに我が總領事館あり。

塔大のヤガダブ



孟買よりは我が國に絹を供給すること大なり我が領事館あり。

口の三角洲上に立ち、ヒンドスタン平野の門戸に當り、貿易額印度第一に位置す、黄麻及び米の輸出多し。ダージリンは北方ヒマラヤ山地に位し、海拔二千米を超え、避暑地として知らる。孟買は半島の西岸に位し、同名の島上に在り、印度第二の都會にして、商業

の遺蹟多く、バトナは農産地の中心に位し、米鴉片等の集散に著はれ、恒河汽船航路の終點に當る。カルカッタは恆河



新版外國上

新版外國上

マドラスの南西遙にツチコリン港あり、前方錫蘭島を望む郵船寄港す。

コロンボに我が名譽領事館あり。

ベシヤワル附近は古へのガンダラ國の地にして、佛教美術の發達せし處なり。

都邑人口 萬人
コロムボ 二一

の盛なることカルカッタに次ぎ、綿米を輸出す、我が郵船會社船舶の寄港地なり、其の北にはバロダ港あり。マドラスは半島の東岸にあり、市況孟買に次ぐ。ハイデラバードは回教の靈地として知られ、又綿砂糖の取引多し。西北部の山地には避暑地多く、シムラは海拔二千、百餘米、政廳の夏季移轉地として著る、又カシユミール地方よりはカシミヤ織を産し、スリナガルは其の中心に當り、ラホールは小麥の集散地、ベシヤワルはアフガニスタンに到る要地なり。南方インダス河口のカラチは貿易の盛大なるマドラスを凌ぐ。

錫蘭島・ネパール・ブータン等

錫蘭島 英吉利の直轄植民地にして、印度半島の南東に位し、アダム橋ありて半島との連鎖を成す、面積約四千方里

人口約四百四十萬あり。地勢山嶽に富み、氣候炎熱なり、茶寶石、石墨を産す。島民は佛教を信ず。首府コロムボは西岸に位し、印度洋航路の要津にして、我船舶寄港す。マナール灣より眞珠を産す。東岸にツリンコマリ軍港あり。ネパール及びブータン 共にヒマラヤ山中の小獨立國なれども、其の實英吉利の勢力範圍に屬す。共に酋長之を統ぶ、鎖國の風あり、住民は農牧業を營み、家畜、黃麻を産す。半島の印度洋沿岸附近には、佛蘭西領のマエ・ジャンデルナゴル、ヤナオン、ボンデシェリー、カリカル、葡萄牙領のゴア、ダマン、ヂュあり。何れも其の面積狭小なり。

印度と我が國との關係 印度は世界の舊國にして、此の國に起りし佛教は、支那朝鮮より本邦に傳來し、我が國首要の宗教となり、之と共に文學、美術を伴ひ、建築、彫刻、繪畫其の

新版外國上

新版外國上

他特種の發達を促ししこと尠からず。此の地は全土を擧げて殆ど英國の有となり、又昔日の觀なしと雖も、彼我の貿易は年と共に進み、留學生の我が國に來るもの年年増加するに至れり。

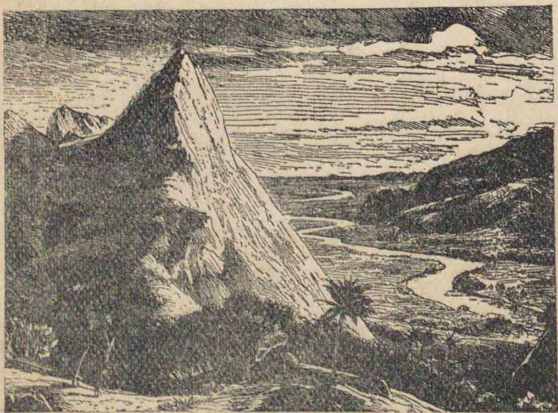
印度支那

Indo-China

總論

地文誌 亞細亞洲の東南部を占むる大半島にして、數條の縦貫山脈、青海、西藏方面より來り、扇狀に擴りて南走し、其の一支遠く海中に突出して、更に馬來半島と成る。東京、メコン、メナム、サルウキ

谷 峽 の デ ワ ラ イ



ンイラワヂ等の諸河、何れも縦谷を成して南流し、各下流に沃野を開く。気温概ね高く夏季降雨多きを以て、河岸の平野は米穀よく熟し、所謂南京米の主産地なり。山地よりは紫檀・黒檀・チーク等の木材を出すこと多し。

人文誌 住民は、大半、印度支那族にして、尙支那族及び雜種馬來人種等あり、多く佛教を奉ず。中部に暹羅の獨立國あるも、其の他は英佛兩國に分屬す。

佛蘭西領印度支那

面積約一四萬七千方里
人口約一千七百萬

半島の東部に位してS字形をなし、東京・安南・交趾支那・カンボヂヤ・老撾の五部に分る。佛領中最も大切なる處にして、支那に對する關係密接なり。農業盛にして米産多く、本邦に輸出する額大なり、又生絲・チーク・紫檀・黒檀の産多し。

都邑人口 萬人
ハノイ 一〇五
サイゴン 一〇五
アンムベン 六六
ユエ 六六

海防・サイゴン
ニ我が名譽領事館あり。

東京 Tongking 佛領印度支那の最北部に位し、北方は支那本部に接し、南は安南に境す、東京河Songkoi（ソンコイ）河北西より南西に向ひて流れ、流域は多く米を産す。河内Hanoi（ハノイ）は同河の下流に位する首府にして、總督駐在す、其の東方に海防Hai-phong（ハイフォン）ありて河内の門戸をなし、生絲・米等を輸出す、鐵道兩地を連れ、尙進むて支那の雲南府に至る。

安南 Annam 東は南支那海に、西は老撾に接する王國にして、順化Hueを首府とし、國王ここに居住すれども、政治上何等の權力なし。順化の南にカムラン灣及びホンコーエ灣あり、日露戰役に露國バルト艦隊の寄泊を以て知らる。

老撾 Laos 安南の西に位す、印度支那中の最未開地なり、往昔我が高岳親王、印度に向ふ途次、此の地に薨じ給ひしと傳ふ。

カンボヂヤ及び交趾支那 Cambodia 印度支那半島の南部に位し、

メコン河流域内を貫流し、沃野遠く連り米産多し、又砂糖・綿を産す。プノムベンはカンボヂヤ王居城の地なり。交趾支那のサイゴンはメコン河流域の三角洲上に立ち、米・綿等を輸出す、佛國東洋艦隊の根據地なり。

暹羅

面積約三萬三千方里
人口約八百六十萬

人文誌 住民は印度支那族の暹羅人を主とし、支那人亦出す、象はこれが運搬上缺くべからざる家畜なり。



多く居住し、何れも佛教を信ず。政體は君主專制なれども、國王大に文化の發達に意を用ひ、先進國の文明を輸入し、諸般の制度を改良せり、陸海軍は微弱なれども財政は裕なり。

地方誌 首府盤谷はメナム河

盤谷市街



の下流に在り、王宮・寺院等壯麗を極め、又百貨輻湊して、貿易業盛大なり、バクナムは其の南に位して之が門戸を成す。

暹羅と我が國との關係 古來我が國との關係淺からず、我が戰國時代に、山田長政が暹羅王を助けて内亂を平定せ

盤谷人口
六十三萬人
盤谷には我が公
使館及び領事館
あり。

しは著名なる事蹟にして、近時留學生を我が國に派して、海軍の基礎を立て、我が國より學術技術の士を聘し、教育・學藝・法制・實業の發達を圖り、彼我の貿易も年年進歩しつつあり。

英吉利領印度支那

英吉利領は海峽植民地・馬來聯邦及びバルマを含む。

海峽植民地 馬來半島の南部に位し、シンガポール・ピナ

ンの二小島及び附近の地方を占む。シンガポールは同名

の島上に在りて、マラッカ海峽に臨み、東西洋交通の咽喉に

當り、總督駐在す。中繼貿易甚だ盛なり。此の地には各種

の人種相集り、奇觀なり。マラカピナンと共に我郵船寄港す。

馬來聯邦 半島の南部にあり、幾多の土人部落より成り、

各酋長之を治め、英吉利の保護を受く、近時護謨の栽培盛に

シンガポールに我が總領事館あり。

都邑人口
シンガポール 萬人

ラングーン 三六

マンドレー 二九

一四

新版外國上

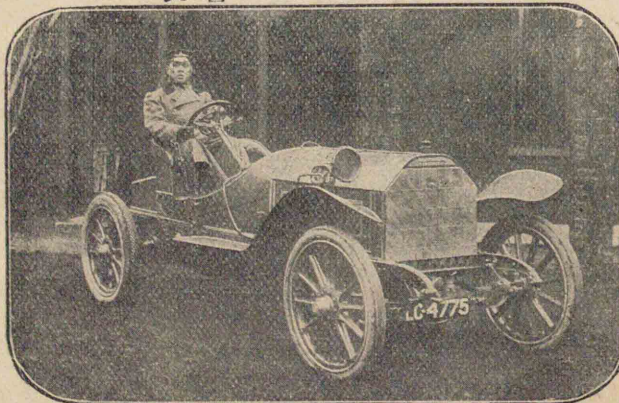
新版外國上

下圖はジョホルの酋長なり。

護謨液採取



馬來聯邦の一酋長



行はれ、我が國人中之が經營に従事するものあり。香料の産亦多し。

バルマ 印度支那の西部を占め、印度帝國の一部を成す、

イラワヂ・サルウキンの二大河流域内を流れ、地味豊饒なり。

ラングーンはイラワヂ河の三角洲上に立ち、米の輸出多き

こと南部亞細亞第一に位す。マンダレーは北方に位し、舊都なりしも、首府の撤廢後日に衰へ、又昔日の勢なし。

馬來群島

地文誌 本群島は、亞細亞洲の南東部に散在する大小無数の島嶼より成りて、其の主なるものは、比律賓群島・ボルネオ・ジャヴァ・スマトラ・セレベス等なり。此等諸島には概ね火山脈通ず、又土地熱帯に位し、氣候炎熱なれども、四面海を繞らすを以て、海風之を和げ、雨量多し、隨て植物の繁茂甚だ

盛なり、鳥類には羽毛の美麗なるもの尠からず。

人文誌 住民は海岸島嶼種を主とし、支那人亦多し、農業を主生業と

胡椒は香料の一なり。



新版外國上

新版外國上

パゴボ人は齒を人為的に磨擦して尖らしむる風あり。

比律賓島ソル人



し、米、珈琲、砂糖、煙草、護謨、杪、權、コブラ等



古來多く香料を産す、モルツ

カ諸島は特に名あり、又チーク・籐規那等をも産す。本群島は政治上米領・蘭領・英領等に分る。

北米合衆國領

比律賓群島

ミンダナオの二大島及數多の島嶼より成る。ルソン島は

山地多く火山に富み、土地肥沃にして農業に適す、マニラ麻、椰子油、砂糖、煙草、米の産多く、本邦に輸入する額少なからず。首府マニラは同名の灣に臨み、總督府あり、貿易盛なり。ミ

マニラに我が領事館あり。

粗製糖は我が國に輸入せられ糖の主なる原料となる。

都邑人口 萬人
スラバヤ 一六
バタヴキア 一四
サマラン 一〇

バタヴキアに我が領事館あり。

麻 ラ ニ マ



ンダナオ島のザムボアングと共に我船舶寄港す。
本島は嘗て西班牙領なりしを以て、島民間には西班牙語行はる、近時我が國民の移住其の數を加へ、ミンダナオ島のダヴァオに於けるマニラ麻製作業の如きは、大に見るべきものあり。
Dayao

和蘭領

ジャヴワ・スマトラ・ボルネオ(北部を除く)・セレベス及び附近の諸島を含む。ジャヴワ島は火山脈全島を貫き、活火山の數、百餘に達す。地味頗る豊饒にして和蘭の寶庫と稱せらる、甘蔗類の産額甚だ多く、又規那・珈琲・護謨・石油の産多し。規那は世界全産額の七割を占む。住民三千六百萬あり。バタヴキアは小灣に

Batavia

新版外國上

新版外國上

獲捕のニワけるけは島群來馬



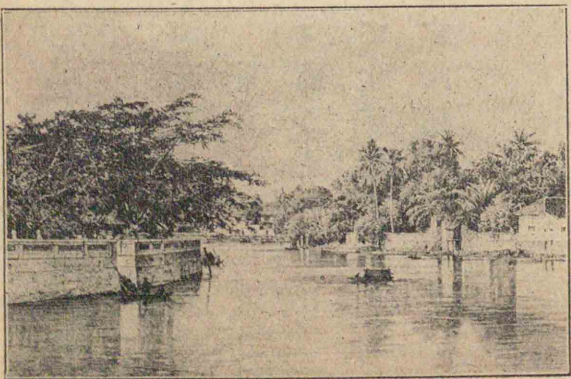
東北に隣れるバンカ・ピルトン二島は錫を産す。

Bangka

ピルトン二

ボルネオ島は世界第三の大島

ヤ



臨み總督府の所在地、蘭領東印度の首府にして、その東にサマラン及スラバヤと共に我船舶寄港す。
Sabrang

スマト

ラ島は石

油及び護

謨・香料の

産に富み、

パダンを

主邑とす。

ス

ヨ 行

猪族.....	33
揚子江.....Yangtzekiang...	15, 27, 28
ヨルダン低地.....Jordan.....	77
ヨルダン河.....	77

ラ 行

喇嘛教.....	34
雷州半島.....Leichow Pen.....	31, 51
ラオ.....老撾.....Laos.....	92, 93
ラサ.....拉薩.....Lassa, Lhasa.....	56
ラブアン島.....	102
ラホール.....Lahor.....	89
ラングーン.....Rangoon.....	97

リ 行

裏海.....	74
龍州.....Lungchau.....	51
龍井村.....Lungchingtsun.....	11
遼河.....Liaoho.....	5
遼東半島.....Liaotung Pen.	1, 5, 31
遼陽.....Liaoyang.....	8
旅順.....Port Arthur.....	2, 3-4

ル 行

ルソン島.....呂宋.....Luzon.....	99
----------------------------	----

レ 行

レナ河.....Lena.....	15, 63
ロブ湖.....Lob-nor.....	30

新地理 外國と卷 終

にして、金、金剛石、石油、サゴ(芋の類)等を産す、鱈魚多し。内地には蠻民多く居住す。南東岸のバリックパパンに我船舶寄港す。兩島共に文化ジャヴワに及ばず。

セレベス島は形状K字に類し、珈琲、海參、鼈甲等を産す。南西部のマカッサルに我船舶寄港す。東方のモルッカ諸島は香料を産し、香料島の名あり。ジロロ島最も大なり。

英吉利領 Spice Is. ボルネオ島の一部にして、北部のサンダカンSanda kanには水上生活の土人あり。我船舶寄港す。西部のラブアン島Labuanより石炭を産す。

ホンコーへ灣.....Hon-coë93
 本溪湖..... 7
 ポンヂェリ Pondicherry90
 ポンベイ.....孟買.....Bombay88

マ行

マエ.....Mabe..... 90
 マカオ.....澳門.....Macao51, 58
 マスカット.....Muscat.....79
 マドラス.....Madras89
 マナール灣.....Gulf of Manaar90
 マニッヂ.....Manitsch.....12
 マニラ.....馬尼拉.....Manila.....99
 馬來群島.....Malay Archipelago
98-102
 馬來半島.....Malay Pen.....91
 馬來聯邦.....Federated Malay States
96-97
 マラツカ.....Malacca96
 マラツカ海峽.....17
 マルモラ海.....Sea of Marmora.....17
 滿洲.....Manchuria5-12
 滿洲人.....(ツングース種族).....8
 滿洲里.....Manchouli7
 萬縣.....Wanhsien48
 マンダレー.....Mandalay.....98

ミ行

南支邦海.....Nanhai, China Sea 17, 31
 南滿洲.....South Manchuria ...4, 11
 南滿洲鐵道.....South Manchuria
 Railway 2, 4, 7
 岷江.....Minkiang 28
 ミンダナオ.....Mindanao99, 100

ム行

無錫.....Wusi46

メ行

メコン河.....Mekong15, 91, 94
 メソポタミア.....Mesopotamia15, 75
 メソポタミア平原.....75
 メヂナ.....Medina77
 メツカ.....Mekka.....77
 メナム河.....Menam91, 94, 95
 メルフ.....Merv71

モ行

蒙古.....Mongolia... 31, 32, 52-53
 蒙古高原.....27
 蒙古人種(亞細亞人種).....Mongolians21
 蒙古種族.....Mongols32
 蒙自.....Mentze51
 猛印.....Men In51
 モルッカ諸島.....Moluccas, Spice Is.99-102

ヤ行

ヤクーツク.....Yakutsk69
 ヤクーツク州.....65
 ヤナオン.....Yanaon90
 ヤブロノイ高臺.....Yablonoi13, 62
 ヤルカンド.....葉爾羌.....Yarkand54

ユ行

ユーラシア大陸.....Eurasia13
 ユエ.....順化府.....Hue93

東支那海...(東海).....	Eastern Sea (Tunghai)	17, 26,
東支那鐵道.....	Chinese Eastern Railway	7, 67
東蒙古.....	Eastern Mongolia.....	9
ピナン.....	Pinang	96
ヒヅア.....	Khiva	72, 73
ヒマラヤ山系.....	Himalaya Mts.	13, 26, 82, 83
ヒマラヤ山地.....		82, 83
閩江.....	Minkiang	50
ピリトン.....	Biliton	101
ヒンヅー種族.....	Hindus	84
ヒンヅークシ山脈.....	Hindukush Mts.....	14
ヒンドスタン平野.....	Hindustan	85, 88
苗族.....		33
萍郷.....	Pingshang	34, 48

フ 行

比律賓群島.....	Philippine Is.....	17, 98, 99-100
フェルホヤンスク.....	Verkhoyansk	64
ブータン.....	Bhutan	90
伏牛山脈.....	Funew Mts.....	26
福建省.....	Fukien	49
福州.....	Foochow	50, 51
福州灣.....		50
蕪湖.....	Wuhu	40, 46
武昌.....	Wuchang	47
撫順.....	Fushun	7
ブシール.....	Bushire	81
ブダガヤ.....	Buddha-gaya	87
ブノムベン.....	Pnom-Penh	94
ブラゴベシチェンスク.....	Blagoveshchensk	69
ブラマプトラ河.....	Brahmaputra	15, 56
普蘭店.....	Pulantien	2

佛蘭西領印度支那.....	French Indo-China	92-94
汾水.....	Fenho	43

へ 行

ペテロパウロスク.....	Peteropavlovsk	70
北京.....	Peking	41
ペシャワル.....	Peshawar	89
ペテロ大帝灣.....	Peter the Great B.	62, 69
ベナレス.....	Benares	87
ヘラット.....	Herat	81
ベーリング海.....	Behring Sea	12
ベーリング海峡.....	Behring Strait	12
ペリム島.....	Perim	19
ペルシヤ.....	Persia	80
ペルシヤ灣.....	Persian Gulf	17
ベルチスタン.....	Beluchistan	81
ベンガル.....	Bengal	85
ベンガル灣.....	Bay of Bengal	17, 82

ホ 行

法庫門.....	Fakumen	9
ホータン.....	Khotan	54
奉天.....	Mukden	8
奉天省(盛京省).....		8
北嶺(秦嶺山脈).....	Peling Mts.	13, 27
浦口.....	Pukow	46
ボスポロス海峡.....	Bosporus	17
牡丹江.....	Mouton	10
渤海灣.....	Pohai Wan	15, 17, 31
北氷洋.....	Arctic Ocean	12, 84
保定.....	Paoting	42
ボハラ.....	Bohara	72, 73
ボルネオ島.....	Borneo	17, 82
ホンコン.....	Hongkong	51, 57

トルキスタン.....土耳其斯坦.....	Turkestan72, 73
トルコ族.....	Turks21, 32, 76
東京.....	Tongking92-93
東京河...(ソソコイ河).....	91, 93
東京灣.....	Gulf of Tongking17, 31
塘站.....(トソク).....	Tangku41

ナ 行

南京(江寧).....	Nanking40
南山.....	Nanshan4
南昌.....	Nanchang46
南寧.....	Nanning51
南嶺.....	Nanling13, 27

ニ 行

牛莊(營口).....	Niuchwang9
ニコライエフスク.....	Nikolaievsk63, 70
ニコリスク.....	Nikolisk69
ニュー西比利亞群島.....	New Siberia62
日本海.....	Sea of Japan17
寧古塔.....	Ninguta10
寧波.....	Ning-po40

ネ 行

ネパール.....	Nepal90
嫩江.....	Nonni12

ハ 行

バイカル湖.....	Baikal16, 64, 67
賣買城.....	Maimatchin53
ハイデラバード.....	Hyderabad85, 89
ハイフオン.....海防.....	Haiphong93
海拉爾.....	Khailar12

バク.....	Baku74
白河.....	Peiho41, 42
白玉山.....	4
バクダード.....	Bagdad76
バクダード鐵道.....	Bagdad Railway77
バクナム.....	Paknam95
バシ海峽.....	Bashi Channel67
巴蜀盆地.....	48
バタヴキア.....	Batavia100-101
パダン.....	Padang101
バツム.....	Batum74
巴塘.....	Batang49
バトナ.....	Patna97, 98
ハノイ.....河内.....	Hanoi98
ハバロフスク.....	Khabarovsk67, 69
バビロニア.....	Babylonia80
バビロン.....	80
バブエルマンデブ海峽.....	Strait of Bab-el-Mandeb17, 79
馬蜂溝.....	9
パミル高原.....	Pamir13, 14, 70
鄱陽湖.....	Poyanghu28, 46
バルハシ湖.....	Balkhash16, 30, 71
哈爾賓.....	Kharbin7, 10
バルマ.....緬甸.....	Burma82, 84, 97-98
パレスチナ.....	Palestine75
バロダ.....	Baroda89
バンカ島.....	Banka101
漢口.....	Hankau45
バンコク.....盤谷.....	Bangkok95
バンジャブ.....	Punjab74
萬里の長城.....	The Great Wall42

ヒ 行

東岬.....(デシユネフ角).....	East lape12
東鷄冠山.....	3

大連	Dailen (Dalny)	1, 4
大連灣		1
臺灣海峽	Formosa Strait	31
ダヴロ	Davao	100
タシュケント	Tashkent	72
打箭爐	Tatsienlu	49
タブリーズ	Tabriz	78
ダマン	Daman	90
ダルダネル海峽	Dardanelles	17

チ 行

チエリヤピンスク	Chelyabinsk	67
チリュースキン岬 (北東岬)	Chelyuskin C.	61
中亞細亞	Russian Central Asia	61
チグリス河	Tigris	75
地中海	Mediterranean Sea	13, 15, 17
齊々哈爾	Tchitchikhar	7
芝罘	Chifu	40, 41, 44
叙州	Su-ifu	49
チタ	Chita	69
チフリス	Tiflis	74
チベット 西藏	Tibet	26, 31, 55
チベット高原		14
チベット族	Tibetans	21, 56
張家口	Khalgan	42
ヂュ	Diu	90
重慶	Chungking	49
長沙	Changsha	48
長春	Changchun	7
長山列島		1
潮州	Chaochow	51
朝鮮半島	Korea	17
直隸海峽	Strait of Pechili	1, 3
直隸省	Chihle	41
長白山脈		5
鎮江	Chinkiang	40, 46

青島	Tsingtau	44
----	----------	----

ツ 行

通江口	Tungkiangkau	9
ツングース種族 (滿洲人)	Tunguses	8
ヅンガリア	Dungaria	14
ツンドラ	Tundra	15

テ 行

デカン高原	Deccan	15, 82, 83
迪化 (烏魯木齊)	Urumtsi	54
デシユネフ角 (東岬)	Deshnef C. (East C.)	62
鐵嶺	Tiehling	9
テヘラン	Teheran	80
デリー	Delhi	87
天山山系	Thianshan, Celestial Mts.	13, 26
天山南路 (支那土耳其斯坦)	Thianshannanlu	32, 53
天山北路 (伊犁)	Thianshanpelu	32, 54
天津	Tientsin	42

ト 行

騰越	Tengyueh	51
洞庭湖	Tungting	28
洮南	Taonan	9
東清鐵道		7
東部亞細亞	Eastern Asia	19
東部西比利亞	Eastern Siberia	65
トボルスク省	Tobolsk	66
トムスク	Tomsk	67, 68
トムスク省		66
ドラークダ種族	Dravidas	84
トランスヒマラヤ山系	Transhimalaya Mts.	13, 26, 55

支那中部地方.....	45-49
西比利亞.....Siberia	5, 61-70
西比利亞平原.....	15
西比利亞鐵道.....Siberia Railway	7, 25, 67
思茅.....Sumao	51
シムラ.....Simla	82, 89
湘江.....Siangkiang	29
小亞細亞.....Asia Minor	75
小亞細亞半島.....,, Pen.....	17
沙市.....Shashi	48
珠江.....Chukiang	15, 30
松花江.....Sungari	56, 63
シリア.....Syria	75
シル河.....Syr Darja	16
ジロロ島.....Gilolo	102
シンガポール.....新嘉坡.....Singapore	96
新疆省(伊犁).....Sinkiang.....	26, 53-54
盛京省(奉天省).....Shengking	8
新民府.....Sinminfu	8
秦嶺山脈(北嶺).....Tsinling Mts.....	26
津浦鐵道.....	36

ス 行

スクタリ.....Scutari	76
スタノヴォイ山脈.....Stanovoi Mts.	13, 62
ステップ地方.....草原地方.....Steppes	72
ストレテンスク.....Stretensk	68
スマトラ島.....Sumatra	17, 98, 101
スミルナ.....Smyrna	76
スラバヤ.....Surabaya	101
スリナガル.....Srinagar	89
スリマン山脈.....Suliman Mts.	14, 81
汕頭.....Swatow	51
ズンガリ.....松花江.....Sungari	56

セ 行

西安.....Sian	43, 44
-------------------	--------

青海.....Koko-nor	26, 30, 55
青海(湖).....	55
西江.....Sikiang	29, 51
成都.....Chentu	49
青島.....Tsingtau	44
濟南.....Tsinan.....	44
西部亞比利亞.....Western Siberia.....	66
錫蘭島.....Ceylon	89-90
浙江省.....Chekiang	35, 45
赤壁.....	47
セレベス.....Celebes	17, 98-102
陝西省.....Shensi	41
錢塘江.....Tsientangkiang	45

ソ 行

草原地方.....Steppes	72
蘇州.....Soochow	45
外カスピ地方.....Transcaspia	72
外裏海鐵道.....Transcaspian Railway..	72
外バイカル州.....Transbaikal	65
外蒙古.....Outer Mongolia	25
ソンコイ河(東京河).....Songkoi	93

タ 行

タイミル半島.....Taimyr	16
タクラマカン沙漠.....Takla-makan	50, 53
ダージリン.....Darjiling	83, 88
タリム河.....Tarim	16, 30
タリム盆地.....,, Basin.....	14, 30
大運河.....Grand Canal	40
太原.....Taiyüan	43
泰山.....Taishan	44
大雪山地.....Tabsuehling	27
太平洋.....Pacific Ocean	12
大冶.....Tayeh	36, 47

沅江.....Yuankiang48

コ 行

ゴア.....Goa90
 興安嶺.....Khing'an Mts.....5, 13
 黄河.....Hwangho (Yellow River)
 15, 29
 黄海.....Hwanghai (Yellow Sea) 17
 紅海.....Red Sea17
 廣州(廣東).....Canton1, 17, 51
 杭州.....Hangchow40, 45
 廣州灣.....Kwangchowwan
 3, 31, 51, 58
 膠州灣.....Kiaochow Bay...31,44, 57
 廣西省.....Kwangsi49
 江西省.....Kiagsi45
 黃石港.....Hwangshihkang.....47
 江蘇省.....Kiangsu.....35, 45
 江寧(南京).....Kiangning46
 黃浦江.....Hwangpukiang45
 黒海.....Black Sea17
 黒龍江.....Amur.....5, 6
 黒龍江省.....Helungkiang 8
 黒龍江沿海地方.....Amur...Primorsk66
 青海(ココノル).....Koko-nor30, 55
 梧州.....Wuchow51
 交趾支那.....Cochin-China...92, 93, 94
 湖南省.....Hunan45
 ゴビ沙漠.....戈壁.....Desert of Gobi14
 湖北省.....Hupeh45
 滬寧鐵道.....39
 コマンドルスキイ群島.....Comandolski Is. ...62, 70
 コロマンデル沿岸.....Coromandel Coast83
 コロムボ.....Colombo90
 崑崙山系.....Kuenlun Mts.

索引

六

..... 13, 26, 27, 29

サ 行

サイゴン.....柴棍.....Saigon.....94
 サハリン(樺太).....Sahalin (Saghalien) ...66
 サマラン.....Samarang101
 サマルカンド.....Samarkand71, 73
 サヤン山脈.....Sajanskii Mts. ...13, 26, 62
 サルウェン河.....Salwin.....15, 91, 97
 山海關.....Shanhaikwan42
 三峽の險.....28, 48
 三姓.....Sansin10
 山西省.....Shansi41
 山東省.....Shantung41
 山東半島.....1, 31, 44
 山東鐵道.....39
 三都澳.....Santuaio50
 サンポー河.....San-po.....56
 サンダカン.....Sandakan102

シ 行

シャトエルアラブ.....Shat-el-Arab15
 ジャヴァ.....瓜哇.....Java.....98, 100-101
 暹羅.....Siam92, 94-96
 暹羅灣.....Gulf of Siam17
 シャンデルナゴル.....Chandernagor90
 上海.....Shanghai39, 45
 舟山列嶋.....Chausan Is.31
 死海.....Dead Sea75
 四川省.....Szechwan45, 48
 支那.....China1, 26-60
 シナイ半島.....Sinai Pen.82
 支那本部.....China Proper40-52
 支那土耳其斯坦.....Chinese Turkestan.....53
 支那南部地方.....49-52

索引

七

新版外國上索引

新版外國上索引

回教.....	Mohammedanism ..	34
海峡植民地.....	Straits Settlements	96-97
海南島.....	Hainan	51
開平.....	Kaiping	36, 42
蓋平.....	Kaiping	10
開封.....	Kaifeng.....	29, 43
岳州.....	Yochau	40, 48
カシュガル(疏勒)喀什噶爾.....	Kashgar	53
カシュミール.....	Kashmir.....	89
カスピ海(裏海).....	Caspian Sea	12, 16
河南省.....	Honan.....	41
河南府.....	43
カブール.....	Kabul	81
カフカズ.....高加索.....	Kavkas (Caucasia).....	73-74
カフカズ山脈.....	Kavkas (Caucasus)-Mts.	14, 74
カフカズ種族.....	73
勘察加半島.....	Kamtehatka Pen.....	17, 66
カムラン灣.....	Kamranh	93
嘉峪關.....	Chiayukwan	42
カラコラム山系.....	Kalakoram Mts.	13, 55
樺太島.....	Sahalin, (Sakhalien) ..	62
カラチ.....	Karachi	89
カリカル.....	Karikal	90
カリムスカヤ.....	Karymskaya	67
嘉陵江.....	Chialingkiang	28
カルカッタ.....	Calcutta	87, 88
恒河(ガンガ河).....	Ganga (Ganges)	15, 83
漢江(漢水).....	Hankiang	28, 47
贛江.....	Kankiang	46
漢中.....	Hanchung	44
甘肅省.....	Kansu	41
漢族(漢人支那族).....	8, 21, 92
間島.....	10
廣東.....	Canton	40, 49, 51
廣東省.....	Kwangtung.....	49
廣東灣.....	51

關東州.....	1, 4, 56
カンボヂャ.....	Cambodja	92, 93-94
漢陽.....	Hanyang.....	47

キ行

キヤフタ.....	Kiakhta	53, 68
九江.....	Kiukiang.....	40
九龍.....	Kowloon	58
貴州省.....	Kweichow	49, 51
宜昌.....	Ichang	40, 48
北亞米利加州.....	North America	12
曲阜.....	Chufu	44
吉林.....	Kirin (Girin).....	7, 10
吉林省.....	8
キルギス人.....	Kirghiz	71
金沙江.....	28
金州.....	Kinchow	24
金州灣.....	1
金州地峽.....	1
錦州.....	Chin chow	42

ク行

クエタ.....	Quetta	81
庫倫(ウルガ).....	Kulun	52, 53
クラスノヤルスク.....	Krasnoyarsk	67, 68
クルヂヤ(伊犁).....	Kuldja.....	54
クラスノヴァドスク.....	Krasnovodsk	71

ケ行

瓊州.....	King-chow	52
京漢鐵道.....	39, 43
景德鎮.....	Kingtechen.....	46
京奉鐵道.....	39
桂江.....	Kwei Kiang	29
ケラット.....	Kerat	81

アンガラ河.....	Angara	64
安徽省.....	Ankwei	45
アンデジャン.....	Andijan	72
安東縣.....	Antung	9
安南.....	Annam	92, 93
安奉鐵道.....		7

イ 行

イェニセイ河.....	Yenisei	15, 63, 88
イェニセイスク省.....	Yeniseisk	65, 68
イェルサレム.....	Jerusalem	77
威海衛.....	Weihaiwei	56
渭水.....	Weiho	29
英吉利領印度支那.....	British Indo China	96-98
イラワヂ河.....	Irawadi	15, 92, 97
イラン高原.....	Irân	15, 70
イラン種族.....		80
イラン地方.....		79-81
伊犁(新疆省).....	Ili	53-54
伊犁(クルヂヤ).....		54
伊犁河.....		30
イルクツク.....	Irkutsk	65, 67, 68
イルクツク省.....		65
インダス河.....	Indus	1, 5, 88, 89
印度.....	India	82-90
印度平原.....		82, 83
印度洋.....	Indian Ocean	12
印度帝國.....	Indian Empire	84
印度支那.....	Indo-China	17, 91-98
印度支那半島.....		17
印度支那山系.....		27

ウ 行

烏江.....	Wukiang	28
吳淞.....	Woosung	45

ヱクトリア.....	Victoria	57
烏蘇里河.....	Ussuri	63, 68
内蒙古.....	Inner Mongolia	52
蕪湖.....	Wuhu	40, 46
浦鹽斯德(ウラジボストク).....	Vladivostok	7, 68
ウラル山脈.....	ウラ山脈 Ural Mts.	61, 62, 67
ウラル河.....	烏拉河	12, 16
ウルガ(庫倫).....	Urga	52, 53
烏魯木齊(迪化).....	Urumtsi	54
温州.....	Wenchow	50
雲南.....	Yunnan	49, 51
雲南鐵道.....		39
雲南省.....		49
雲夢澤地.....		16

エ 行

營口(牛莊).....	Yingkow	9
エウフラト河.....	Euphrates	15, 75
粵漢鐵道.....		39
エヴェレスト山.....	Everest	13
エルブールス山脈.....	Elburz Mts.	14
沿海州.....	Primorskaya	66
煙臺.....	Yentaij	7

オ 行

オビ河.....	Obi	12, 15, 63
阿哥斯科(オホーツク)海.....	Sea of Okhotsk	17
オマーン.....	Oman	79
オムスク.....	Omsk	67, 73
鴨綠江.....	Yalu, (Amudok)	6
オレンブルグ.....	Orenburg	72

カ 行

海岸島嶼種族.....	Insulars and Littorals	32
-------------	------------------------	----

廣島縣志

二年十四日放場





広島大学図書

2000054756

